桶川市新庁舎建設工事

□ 1000 建　築（総合）
□ 2000 建　築（構造）
□ 3000 電　気　設　備
□ 4000 空調換気設備
□ 5000 給排水衛生設備
■ 6000 解　　体

２０１６年　３月

NIHON SEKKEI 日本設計

通し番号	図面番号	図 面 名 称	通し番号	図面番号	図 面 名 称	通し番号	図面番号	図 面 名 称	通し番号	図面番号	図 面 名 称
1	6000	表紙									
2	6001	図面表									
3	6002	解体特記仕様書-1									
	6003	解体特記仕様書-2									
4											
5	6011	外部仕上表									
6	6012	内部仕上表（南庁舎）									
7	6013	内部仕上表（北庁舎）									
	6014	内部仕上表（西庁舎・北庁舎別館）									
8											
9	6021	解体範囲図-1									
10	6022	解体範囲図-2									
11	6023	１・２階平面図（南庁舎）									
12	6024	３階平面図、屋根伏図（南庁舎）									
13	6025	１階平面図（北庁舎）									
14	6026	２階平面図・屋上階平面図・PH階屋根伏図（北庁舎）									
15	6027	１・２階平面図、屋根伏図（北庁舎別館）									
	6028	１・２階平面図、屋根伏図（西庁舎）									
16											
17	6031	立面図・断面図（南庁舎）									
18	6032	立面図・断面図（北庁舎）									
19	6033	立面図・断面図（北庁舎別館）									
	6034	立面図・断面図（西庁舎）									
20											
21	6041	単線結線図・機器参考図									
22	6042	撤去設備機器リスト１									
23	6043	撤去設備機器リスト２									

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計

検図	/00.00.00	
製図	/00.00.00	
竣工図	保管 / . . 承認 / . .	
	確認 / . .	
	作成（図面番号） / . .	

訂正 . . . . .

特記

統括	１級建築士登録第206250号 大坪 泰 印
建築	１級建築士登録第286712号 薄崎康志 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称	図面表
縮尺	-

LIST.DWG

／ 枚ノ内 図面番号 6001

区分 建築（総合）

工事名	桶川市新庁舎建設工事

仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　桶川市泉一丁目337番3、337番5、341番1、342番2、342番4　月途地域　準住居地域、第一種住居地域

2．建物概要

棟名称・構造・階数			建築面積	延べ面積
北庁舎	RC造	2階建	㎡	1,301 ㎡
西庁舎	S造	2階建	㎡	462 ㎡
南庁舎	S造	3階建	㎡	964 ㎡
北庁舎別館	S造	2階建	㎡	527 ㎡
合計			㎡	3,254 ㎡

3．敷地面積　4184.14 ㎡

4．工事範囲
2 仮設工事
3 解体施工
4 建設廃棄物処理
5 特別管理産業廃棄物処理

5．工期　契約日から平成30年2月28日まで（解体予定工期　契約日から平成28年8月31日まで）

Ⅱ 解体工事仕様

1．共通仕様

(1) 図面、特記仕様書及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて埼玉県建築工事特別共通仕様書、国土交通省大臣官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（平成２４年版）」により、これら共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（平成２５年版）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（平成２５年版）」による。

2．特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙印のついたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と㊟印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［　．　．　］内の表示記号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目を示す。
(4) 特記事項に記載の〈　．　．　〉内の表示記号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目を示す。
(5) 特記事項に記載の［　．　．　］内の表示記号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目を示す。
(6) 特記事項に記載の（　．　．　）内の表示記号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	⊙建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編） ⊙埼玉県建築工事に伴う災害、公害、及び事故防止対策要領 ⊙建設副産物適正処理推進要綱 ⊙建設工事に伴う騒音振動対策技術指針 ・ ・ ・
	② 官公署その他への届出手続き等	解体工事の通知書の提出等　〈1.1.3〉 ※建設リサイクル法第１１条の規定による通知書を作成し、監督員に提出すること。 ※上記通知書の各事項（変更がある場合は、変更後の内容）について、下請業者に周知徹底すること。 再資源化等完了の報告と記録 ※廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条第１項の規定により、監督員に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関して記録を作成し、保存すること。 その他の届出手続等 ※その他、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
	③ 工事実績情報の登録	ＣＯＲＩＮＳへの登録　〈1.1.4〉 ・請負者は、受注時、変更時、完成時の各時点において「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受け、これを登録するとともに、「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出する。
	④ 下請業者の選定	県内業者の活用 ⊙各種下請業者については、優先的に県内業者を選定すること。 ⊙下請業者に解体工事業者を選定する場合は、埼玉県知事登録をしている者を選定すること。
	⑤ 施工管理	※現場代理人は現場に常駐し、現場の運営、取締りを行う。　〈1.3.1〉 ※専任された「建設業法」に基づく主任技術者、又は選任された「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）に基づく技術管理者は、現場に常駐し、技術管理にあたる。
	⑥ 工事の記録	工事写真の整備　〈1.2.3〉 ※工事写真は、着工前、各工程における作業状況、解体材の分別状況、完了時について、「埼玉県建築工事写真作成要領」を参考に監督員と協議し、監督員の指示により撮影する。 ※「埼玉県電子納品運用ガイドライン」の電子納品対象資料とし、電子成果品として、電子媒体（CD-R）を正、副各１部納品する。 ・電子データを用いた検査に必要な機器は、検査員の意向を勘案し監督員と協議し準備する。
	⑦ 電気保安技術者	適用する　〔1.3.3〕
	⑧ 施工条件	下記以外は現場説明書による。　〈1.3.5〉 ・建設発生木材仮置場　（※図示　・　） ・　（※図示　・　）
	⑨ 条件明示、項目	※請負者は工事内容に応じた火災保険、建設工事保険その他の保険に付すること。 （種類：　期間：　）
	⑩ 環境保全等	建設機械　〈1.3.9〉 ※建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。
	⑪ 引き渡しを要するもの	※現場説明書による　〈1.3.10〉 引き渡しを要するもの 名称 ／ 仕様等 ／ 備考
	12 施工数量調査	調査範囲及び調査方法　※図示　〈1.4.2〉
	⑬ 近隣に対する周知	〈1.3.11〉 ・工事に先立ち、監督員と打ち合わせの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明会を開催する。 ・工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
	⑭ ガイドラインに基づく電子納品	※「埼玉県電子納品運用ガイドライン」に基づく電子納品対象工事とする。 ※電子納品対象資料は　工事写真　及び　完成写真　とし、作成は「建築・設備工事電子納品写真作成要領」による。
	15 完成時の提出図書等	下記のものを監督員に提出する　〔1.6.1〕 ・完成図　・保全に関する資料　※完成写真 ・図面情報電子化媒体（CD-R）　・保証書
	16 完成図	・Ａ１版二つ折り製本（陽画複写図）を１部提出する。　〔1.6.2〕 ・図面情報電子化媒体（CD-R）を１部提出する。
	17 完成写真	・写真帳を１部提出する。　〔1.6.4〕 ※電子成果品として、電子媒体（CD-R）を正、副各１部納品する。 ※「埼玉県建築工事写真作成要領」を参考に監督員と協議し、監督員の指示により撮影する。
	18 図面情報電子化媒体	※「埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領」により作成する。　〔1.6.5〕
	⑲ 施設CADデータの更新	・行う　⊙行わない
2 仮設工事等	① 騒音・粉塵等の対策	騒音・粉塵等の対策　〈2.2.1〉 ㊟防音パネル　・防音シート 設置範囲及び高さ ㊟（図示　／　図による）　・
	② 足場その他	〈2.2.2〉 足場を設ける場合、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成２１年４月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。
	③ 工事概要案内板	※設置する　・設置しない
	4 監督員事務所	監督員事務所の規模及び備品　〈2.3.1〉 ・　㎡程度　※建築工事で設置。 ・次の備品について　名分相当とする。 ・机、イス　・書棚　・黒板　・製図板等　・掛け時計　・寒暖計 ・長靴　・雨がっぱ　・保護帽　・懐中電灯　・安全帯　・軍手　・電話機 ・更衣ロッカー　・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・清掃用具 ・シャワー室
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	⑥ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	⑦ 仮囲い等	⊙図示の有無に関わらず、監督員と協議の上、的確に対応すること。　〈2.2.2〉
	⑧ 交通整理員	⊙必要に応じ搬入路付近に交通整理員を配置する。
3 解体施工	1 浄化槽・排水槽等	汚水・汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置　〈3.2.1〉 ・行う　・行わない
	② 杭の解体	・行う　⊙行わない 杭の解体工法 ・引抜き工法 引き抜いた杭の処理（※図示　・　） ・破砕による解体
	③ 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ⊙行う（　／　図による）
	④ 地下埋設物・埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体　〈3.11.1〉 ⊙行う（　／　図による）
	⑤ 設備機器等	解体事前処理（油類タンク） ⊙解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。 ⊙燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 解体事前処理（冷媒） ・冷媒を屋外機にポンプダウンした撤去を行う機器は下記による。 図面番号 ／ 記号 ・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。 図面番号 ／ 記号
	⑥ 屋外設備等	電柱の撤去　・行う（　／　図による）　⊙行わない 外灯の撤去　⊙行う（　／　図による）　・行わない
	7 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土　〈3.12.1〉 ・行う 整地高さ ・現状ＧＬ　・行う（　） 埋戻し及び盛土の材料 ・山砂の類　・他現場の建設発生土の中の良質土　・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ・行わない
	8 解体後の柵の設置	・解体後、監督員の指示に従い、敷地内に進入できないよう柵等を設置する。
4 建設廃棄物処理	1 再資源化等	〈4.4.1〉 建設廃棄物の種類 ／ 備考 ・コンクリート ・コンクリート及び鉄からなる建設資材 ・木材 ・木材（梱包） ・アスファルトコンクリート ・金属類 ・小形二次電池 ・蛍光ランプ、HIDランプ ・硬質塩化ビニル管、継手 ・ガラス ※中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による
	2 現場利用する再資源化された建設廃棄物	〈4.4.1〉 名称 ／ 仕様 ／ 数量 ／ 備考
	3 産業廃棄物広域認定制度の活用	〈4.4.2〉 種類 ／ 備考 ※所在地は現場説明書による
	4 最終処分する建設廃棄物	〈4.4.4〉 名称 ／ 仕様 ／ 数量 ／ 備考 ※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による
	5 処理に注意を要する建設廃棄物	〈4.5.1〉 廃棄物の種類 ／ 備考 ・石綿含有せっこうボード ・ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・上記以外のせっこうボード ・ＣＣＡ処理木材 ※処分場、処分施設は現場説明書による
	6 舗装版切断時に発生する濁水の処理	(濁水の処理) 中間処理施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。 種類　汚泥 (共通事項) 1 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理施設に運搬及び処理するものとする 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ」という。）により管理するものとする。 (提出書類等) 1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事完成後速やかにﾏﾆｭﾌｪｽﾄの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 (その他) 受注者は、バキューム式以外の工法（舗装版切断時に濁水を生じない等）を使用する場合においては、事前に発注者と協議するものとする。
5 特別管理産業廃棄物の処理	① 施工調査	※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。　〈5.1.2〉 （1）特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 （2）特別管理産業廃棄物に応じた、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 （3）調査結果は調書にまとめ、監督員に提出する。
	② 分析調査	〈5.1.2〉 分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類 ／ 採取する部位又は箇所等 ／ 採取する数量 ／ 備考 ・PCB 含有シーリング分析調査第一次判定） ・PCB 含有シーリング分析調査第二次判定） ・図示　・　箇所 ・図示　・　箇所 ・図示　・　箇所 ・PCB含有シーリング分析調査　〈5.4.4〉 ・現場説明書による ・PCBを含む機器の微量PCBの分析調査　〈5.4.3〉 ・ ・絶縁油のPCB含有量の分析調査 「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月31日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定（電気技術規定JEAC1201-1991）」により行う。 ⊙ダイオキシン類のサンプリング調査　〈5.4.7〉 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱（平成13年4月25日付基発第401号）」により行う。
	③ 特別管理産業廃棄物の処理	〈5.4.1〉〈5.4.5〉〈5.4.6〉 特別管理産業廃棄物の種類 ／ 備考 ・廃石綿等 ⊙PCBを含む機器類 ⊙PCB含有シーリング材 ・廃油 ⊙廃酸/廃アルカリ ⊙ダイオキシン類 ／ 煙突 ⊙鉛 ※処理施設の名称、所在地は現場説明書による
	④ PCBを含む機器類	引渡しを要する機器類　〈5.4.3〉 ⊙北庁舎、西庁舎　安定器 ⊙三相変圧器　変圧器　高圧進相コンデンサ　二井進相コンデンサ　進相用OF式コンデンサ；絶縁油
	⑤ PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材	撤去方法　〈5.4.4〉 ⊙「標準施工要領書（日本ｼｰﾘﾝｸﾞ工事業協同組合連合会／日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会）」による。 ・ 撤去範囲 ※（図示　／　図による）　⊙北庁舎 北庁舎別館　西庁舎　窓枠
	⑥ ダイオキシン類	廃棄物の焼却施設の解体　〈5.4.7〉 解体方法 ・ 処分方法 ⊙ 適切な方法により解体・処分を行うこと。
	⑦ 鉛	⊙ 適切な方法により解体・処分を行うこと。

16.02.25

日本設計	検図 /00.00.00	製図 /00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . . 確認 / . . 作成(施工者) / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印 建築 1級建築士登録第286712号 薄崎康志 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 解体特記仕様書－1 縮尺 -	KAITAI_TOKKI.DWG 枚ノ内 図面番号 6002 区分 建築(総合)

6 アスベスト含有建材の除去等

1 アスベスト含有建材の事前調査

事前調査 (6.1.2)
※アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。

調査範囲（・　　・図示　　）
貸与資料（　　）

2 アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有調査 (6.1.2)
分析対象
アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、
アンソフィライト、トレモライト
分析方法
※JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
・

材　料　名	調査方法（１材料あたりの試料数）
	※定性分析（※３　・　）　・定量分析（・３　・　）
	※定性分析（※３　・　）　・定量分析（・３　・　）
	※定性分析（※３　・　）　・定量分析（・３　・　）
	※定性分析（※３　・　）　・定量分析（・３　・　）

試料は、１材料あたり３箇所から採取する。
吹付け材及び保温材等は　※　１０cm² /箇所　・　　/箇所　とする。
成形板は　※１００cm² /箇所　・　　/箇所　とする。
採取箇所　・図示
分析結果については監督員に提出すること。

㉘ アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 (6.1.3)
測定時期、場所及び測定点

適用 レベル1	適用 レベル2	適用 レベル3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（処理作業室ごと）	備考
※	※	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	２点	（注２）
※	※	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	（注３）
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	２点	（注２）
※	・（注１）	・	測定４		ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	１点	空気の流れを確認
※	・（注１）	・	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	１点	集じん・排気装置の性能確認
※	※	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	（注３）
※	※	※	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	２点（ﾚﾍﾞﾙ3は１点）	（注２）
※	※	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	（注３）

（注１）除去にあたり、掻き落し、破砕、切断による方法の場合に適用する。
（注２）処理作業室の面積が５００㎡以下までは２点、３００㎡以下までは３点とする。
３００㎡を超えるものは、監督員と協議する。
（注３）施工区画とは、処理作業室、セキュリティーゾーン、廃棄物置場、資材置場を含む範囲で、セキュリティゾーン、集じん・排気装置の排出口が施工区画周辺に設置されている場合の測定点は２点となる。

測定方法
アスベスト粉じん濃度の測定は、JIS K 3850-1（空気中の繊維状粒子測定方法－第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法）による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、第１号登録の第１種作業環境測定士が行うものとする。

	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5
計数機器	位相差顕微鏡		
ﾒﾝﾌﾞﾗﾝﾌｨﾙﾀの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトシートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア、測定結果
イ、測定時間
ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ、マウンティング方法
カ、顕微鏡視野面積、計数視野数
キ、測定時（各測定場所ごと）天候、湿度、温度、外気の風速及び風向

㉔ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付材の撤去（レベル１）

アスベスト含有吹付け材の除去 (6.3.2)
除去対象範囲　◎図示　・
除去工法　　※6.3.2(a)による
除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止
※密封処理　※湿潤化　・セメント固化
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）

㉕ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル２）

アスベスト含有保温材の除去
除去工法　※6.4.3(a)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合） (6.4.3)
除去対象範囲　◎図示　・

・6.3.2(a)による（損傷、劣化等で石綿粉塵を発散するおそれがある場合）
除去対象範囲　◎図示　・

除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止
※密封処理　※湿潤化　・セメント固化

除去したアスベスト含有保温材の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）

㉖ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の撤去（レベル３）

アスベスト含有成形板の除去 (6.5.1)
除去対象範囲　◎図示　・
除去したアスベスト含有成形板の処分
・アスベスト含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）

7 特殊な建設副産物の処理

1 施工調査

〈7.1.3〉

分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備　考
	・図示 ・　　箇所		
	・図示 ・　　箇所		
	・図示 ・　　箇所		
	・図示 ・　　箇所		

2 回収及び処分

〈7.3.1～7.3.7〉

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	備　考
・フロン（冷媒）	
・建材用断熱材フロン	
・ハロン	
・イオン化式感知器	
・六ふっ化硫黄（SF6）ガス	
・ＰＦＯＳ（ﾍﾟﾙﾌﾙｵﾛｵｸﾀﾝｽﾙﾎﾝｻﾝ酸）	
・特定化学物質（　　）	
・その他の特殊な建設副産物（　　）	

※回収業者又は処分場の名称、保管場所・処分場の名称は現場説明書による

8 周辺建築物等調査

1 周辺建築物等調査

（調査）
1　調査は一般的事項調査、事前調査及び事後調査に区分して行うものとする。

（一般的事項）
1　事前調査の実施に当たっては、調査区域内に存する建物等につき、建物の所有者ごとに次の各号の調査を行うものとする。
一　建物の敷地ごとに建物等（主たる工作物）の敷地内の位置関係
二　建物ごとに実測による間取り平面及び立面
三　建物等の所在地及び地番並びに所有者の氏名及び住所
現地調査において所有者の氏名及び住所が確認できないときは、必要に応じて登記簿謄本等の閲覧等の方法により調査を行う。
四　その他調査書の作成に必要な事項

（事前調査）
1　受注者は、（一般的事項）の調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。
一　基礎
二　軸部
三　開口部
四　床
五　天井
六　内壁
七　外壁
八　屋根
九　水回り
十　外構
2　建物の全体又は一部に傾斜又は沈下が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一　傾斜又は沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物の四方向を水準測量又は傾斜計等で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物件を定めて併せて計測を行う。
二　コンクリート布基礎に亀裂が生じているときは、建物の外周について、発生箇所及び状況（最大幅、長さ）を計測する。
三　基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況（大きさ）を計測する。
四　計測の単位は幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。
3　軸部（柱及び敷居）に傾斜が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一　原則として、当該建物の工事箇所に最も接近する壁面の両端の柱及び建物中央部の柱を全体で３箇所程度計測する。
二　柱の傾斜の計測位置は、直交する二方向の床（敷居）から１メートルの高さの点とする。
三　敷居の傾斜の計測位置は、柱から１メートル離れた点とする。
四　計測の単位は、ミリメートルとする。
4　開口部（建具等）に建付不良が発生しているときは、次の調査行うものとする。
一　原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき１箇所程度とし、全体で５箇所程度を計測する。
二　測定箇所は、柱又は窓枠と建具との敷居との最大値の点とする。
三　建具の開閉が滑らかに行えないもの、又は開閉不能及び施錠不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。
四　計測の単位はミリメートルとする。
5　床に傾斜等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一　えん平板張り等の居室（敷居の居室を除く。）について、気泡水準器で直交する二方向の傾斜を計測する。
二　床仕上げ材に亀裂及び縁切れ又は剥離、破損が生じているときは、それらの箇所及び状況（最大幅、長さ又は大きさ）を計測する。
三　束又は大引、根太等床材に緩みが生じているときは、その程度を調査する。
四　計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さ及び大きさについてはセンチメートルとする。
6　天井に亀裂、縁切れ、雨漏等のシミが発生しているときの調査は、内壁の調査に準じて行うものとする。
7　内壁にちり切れ（柱及び内法材と壁との分離）が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一　居室ごとに発生箇所数の調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき１箇所、全体で６箇所程度計測する。
二　計測の単位は、幅についてはミリメートルとする。
8　内壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一　原則として、すべて亀裂の計測をする。
二　計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。
三　亀裂が一壁面に多数発生している場合にはその状態をスケッチするとともに、壁面に雨漏等のシミが生じているときは、その形状、大きさの調査をする。
9　外壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一　四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方向の最大の亀裂から２箇所程度を計測する。
二　計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。
10　屋根（庇、雨樋を含む。）に亀裂又は損傷などが発生しているときは、当該建物の屋根伏図を作成し、次の調査を行うものとする。
一　仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。
二　計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂の幅についてはミリメートルとする。
11　水廻り（浴槽、台所、洗面所等）に亀裂、破損、漏水等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一　浴槽、台所、洗面所等の床、腰、壁面のタイル張りに亀裂、剥離、目地切れ等は生じているときは、すべての損傷を第８項に準じて行う。
二　給水、排水などの配管に緩み、漏水等が生じているときは、その状況を調査する。
12　外構（テラス、コンクリート叩、ベランダ、犬走り、池、浄化槽、門柱、塀、擁壁等の屋外工作物）に損傷が発生しているときは、前１１項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。この場合において、必要に応じ、当該工作物の平面図、立面図等を作成し、損傷箇所、状況等を記載する。

（写真撮影）
1　（事前調査）に掲げる建物等の各部位の調査に当たっては、計測箇所を次の各号により写真撮影するものとする。この場合において、写真撮影が困難な箇所又はスケッチによることが適当と認められる箇所については、スケッチによることができるものとする。
一　カラーフィルムを使用する。
二　撮影対象箇所数を指示棒等により指示し、次の事項を明示した黒板等と同時に撮影する。
（１）調査番号、建物番号及び建物所有者の氏名
（２）損傷名及び損傷の程度（計測）
（３）撮影年月日、撮影番号及び撮影対象箇所

（事後調査）
1　受注者は、事前調査を行った建物等について損傷箇所等の変化及び工事によって新たに発生した損傷について、その状態及び程度を調査するものとする。
2　事前調査の調査対象外であって、事後調査の対象となったものについては、（一般的事項）に準じた調査を行ったうえで損傷箇所の調査を行うものとする。

調査書の作成
（事前調査等の作成）
1　受注者は、次の各号の事前調査書及び図面を作成するものとする。
一　調査区域位置図
二　調査区域平面図
三　建物等調査一覧表
四　建物等調査書（平面図・立面図等）
五　損傷調査書
六　写真集

（事前調査書及び図面）
1　受注者は、事前調査事項及び図面を次の各号により作成するものとする。
一　調査区域位置図は、工事の工区単位ごとに作成するものとし、調査区域と工事箇所を併せて表示する。この場合の縮尺は、5,000分の1又は10,000分の1程度とする。
二　調査区域平面図は、調査区域内の建物の配置を示す平面図で工事の工区単位又は調査単位ごとに次により作成する。
（１）調査を実施した建物については、建物等調査一覧表で付した調査番号及び建物番号を記載し、建物の構造別に色分けし、建物の外枠（外壁）を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。
（２）縮尺は、500分の1又は、1,000分の1程度とする。
三　建物等調査一覧表は、工事の工区単位又は調査単位ごとに調査を実施した建物等について調査番号、建物番号（同一所有者が２棟以上の建物等を所有している場合）の順に建物等の所在地及び番地、所有者並びに建物等の概要等必要な事項を記入する。
四　建物等調査図（平面図・立面図等）は、（一般的事項）及び（事前調査）の結果を基に建物等ごとに次により作成するものとする。
（１）建物平面図は、縮尺100分の1で作成し、写真撮影を行った位置を表示するとともに建物延べ面積、各階別面積及びこれらの計算式を記入する。
（２）建物立面図は、縮尺100分の1により、原則として、四面（東西南北）作成し、外壁の亀裂等の損傷位置を記入する。
（３）その他調査図（基礎伏図、屋根伏図及び展開図）は、発生している損傷を表示する必要がある場合に作成し、縮尺は100分の1又は10分の1程度とする。この場合において写真撮影が困難であり、又は詳細（スケッチ）図を作成することが適当であると認めたものについては、スケッチによる調査図を作成する。
（４）工作物の調査図は、損傷の状況及び程度により建物に準じて作成する。
五　損傷調査書は一般的事項及び事前調査の結果に基づき、建物ごとに建物等の所有者名、建物の概要、名称（室名）、損傷の状況を記載して作成し、損傷の状況については、事前調査欄に損傷名（亀裂、沈下、傾斜等）及び程度（幅、長さ及び箇所数）を記載する。
六　写真は、撮影したものをカラーサービス判で焼付し、撮影箇所及び状況の記載を行ったうえでファイルする。

（事後調査書等の作成）
1　受注者は、事後調査を行ったときは、事前調査書及び図面を基に建物等の概要、損傷箇所の変化及び工事によって新たに発生した損傷について、事前調査等の作成の調査書及び図面を作成するものとする。

2 調査対象範囲

・　配置図に対象エリアと建物リスト等の記載による。

9 移設・残置対象物

① 移設対象物

移設対象物	移設場所
◎ 石碑	監督員の指示に基づき移設
◎ LED照明（102基）	監督員の指示に基づき移設
◎ GHP（3基）	監督員の指示に基づき移設
◎ 仮庁舎案内板（壁付2ヶ所）	仮囲いに取付け
◎ 避難場所案内板	仮囲いに取付け（支柱取りはずし）
◎ 告示板	仮囲いに取付け（支柱設置）
◎ パッケージ案内機(7台)	監督員の指示に基づき移設

⑫ 残置対象物

残置対象物	備　考
◎ 郵便ポスト	郵便局
◎ 電話ボックス	ＮＴＴ東日本
◎ 電柱（6本）	ＮＴＴ東日本
◎ 仮庁舎案内板（支柱タイプ）	
◎ 消火栓看板	消防

16.02.25

日本設計

竣工図	保管 / . .	承認 / . .	
	確認 / . .		
	作成（担当者） / . .		
検図	/00.00.00		
製図	/00.00.00		

訂正
特記

統括	１級建築士登録 第206250号	大坪　泰 印
建築	１級建築士登録 第286712号	篠崎康志 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称：解体特記仕様書－2
縮尺：－
KAITAI_TOKKI.DWG
枚ノ内　図面番号 6003
区分：建築（総合）

外部仕上表注記

2015.07.27 Ver.2

■屋根

部位		仕上げ等
西庁舎		木毛セメント板、フェルト敷き、アスファルトルーフィング、長尺カラー鉄板　瓦棒葺き片流し
北庁舎別館		シート防水2.0、シルバーコート仕上（一部網入波形ガラス）
南庁舎		アスファルト露出防水
北庁舎		アスファルト防水、セメントタイル貼仕上の上、シート防水　　屋根鼻：防水モルタル刷毛引の上、色モルタル吹付仕上
		バルコニー：防水シート

■外　壁　等

部位		仕上げ等
西庁舎	外壁	リブラスシート、モルタル刷毛引、色モルタル吹付（一部石綿板ＯＰ）
	巾木	モルタル金ゴテ押え
	建具	スチール製建具、アルミ製建具
北庁舎別館	外壁	ＡＬＣの上、吹付タイル
	巾木	モルタル金ゴテ押え
	建具	アルミ製建具
南庁舎	外壁	リブラスモルタル刷毛引、アクリル系リシンガン吹付
	巾木	モルタル金ゴテ押え
	建具	スチール製建具、アルミ製建具
北庁舎	柱・梁	モルタル刷毛引の上、白ｾﾒﾝﾄ吹付仕上
	腰壁	モルタル刷毛引仕上
	外壁	モルタル刷毛引の上、色モルタル吹付仕上
	建具	スチール製建具、アルミ製建具

■軒天井

部位		仕上げ等
西庁舎		石綿板9mm 目透かし貼りOP
北庁舎別館		珪酸カルシウム板t=5 EP
		フレキシブルボード
北庁舎		モルタル刷毛引の上、色モルタル吹付
		フレキシブルボード
南庁舎		フレキシブルボード

■犬走り・玄関回り床

部位		仕上げ等
	犬走り・ポーチ	コンクリート金ゴテ押え（一部モルタル金ゴテ押え）

■外部金物

部位		仕上げ等
	樋	塩化ビニル製
	煙突（北庁舎）	煙突内仕上、陣笠：煙突用石綿断熱材の上、コンクリート

■外　構・その他

部位		仕上げ等
舗装	駐車場	アスファルト舗装（表層厚50、路盤厚150） 砂利敷（厚50）
工作物 その他	駐輪場	屋根
	倉庫	コンクリートブロック製：1ヶ所、プレハブ倉庫：2ヶ所
	石碑	石碑：W1600×H1450、石壁：W3550×H1950
	告示板	W3600×H1200
	オイルタンク	埋設
	浄化槽	埋設
	水槽	埋設
	雑	側溝、排水桝、マンホール
	植栽	
	電柱	（別途工事）
	看板	
フェンス	北面	コンクリートブロックH600の上、金網フェンスH900（ゲート2ヶ所）
	東面	コンクリートブロックH600の上、金網フェンスH900（ゲート1ヶ所）
	西面	金網フェンスH1450
	南面	金網フェンスH1450、コンクリートブロック塀H800
	その他	金網フェンスH1450、H1200

内部仕上表注記[南庁舎]　＊巾木は1階：ビニル巾木　2・3階：木巾木とする。ただし、壁がタイル仕上の室は巾木もタイルとする。

2015.07.27 Ver.2

階	室名	床 仕上げ / 下地	壁 柱型 仕上げ / 下地	天井 梁型 仕上げ / 下地	備考
共通	階段室	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / C	GB-R EP / LGS	木手摺り
1階	会議室	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-R EP / LGS	移動間仕切り（布）
	会議室A	長尺塩ビシート / C	GB-R+ビニルクロス / LGS	GB-D(T) / LGS	
	会議室B	タイルカーペット / C	GB-R+ビニルクロス / LGS	GB-D(T) / LGS	
	倉庫1	- / C金ゴテ	- / C	- / C	
	倉庫2・3	- / C金ゴテ	ボード素地 / LGS	ST折板 / -	
	駐車場	- / C刷毛引き	吹付タイル / C	GB-D(T) / LGS	マンホール7ヶ、車止め
	エントランスホール	タイル / C	GB-R EP / LGS	GB-R EP / LGS	流し台1ヶ
2階	事務室	長尺塩ビシート / C	木板張り / 木下地	GB-R EP / LGS	
	男子・女子更衣室	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-R EP / LGS	
	室1	- / C金ゴテ	木板張り / 木下地	GB-R EP / LGS	
	倉庫	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-R EP / LGS	
	湯沸室	長尺塩ビシート / C	フレキシブルボード / LGS	フレキシブルボード / LGS	流し台1ヶ
	男子・女子便所	タイル / C	タイル / LGS+M	フレキシブルボード / LGS	男子：便器1ヶ・小便器3ヶ・手洗い1ヶ・大便器ブース 女子：便器2ヶ・手洗い1ヶ・大便器ブース
3階	議場	タイルカーペット / FAフロア	木板張り / 木下地	GB-D(T)（一部ビニルクロス） / LGS	傍聴席20席(布張り) パーティション
	倉庫	タイルカーペット / C	GW-B / LGS	GW-B / LGS	
	議員控室	長尺塩ビシート / C	木板張り / 木下地	GB-R EP / LGS	
	居室1	長尺塩ビシート / C	木板張り / 木下地	GB-R EP / LGS	
	議長室	長尺塩ビシート / C	木板張り / 木下地	GB-R EP / LGS	
	湯沸室	長尺塩ビシート / C	フレキシブルボード / LGS	GB-R EP / LGS	流し台1ヶ
	男子・女子便所	長尺塩ビシート / C	タイル / LGS+M	GB-R EP / LGS	男子：便器1ヶ・小便器4ヶ・手洗い1ヶ・大便器ブース 女子：便器1ヶ・手洗い1ヶ・大便器ブース

階	室名	床 仕上げ / 下地	壁 柱型 仕上げ / 下地	天井 梁型 仕上げ / 下地	備考
	廊下	長尺塩ビシート / C	フレキシブルボード / 木下地	GB-R EP / LGS	
	外階段	モルタル / S	STルーバー / -	ポリカーボネート / S造	ST手摺り（縦桟）

[略　号]

EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-R	せっこうボード	ST	スチール	C	コンクリート
		GB-D(T)	化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	SUS	ステンレス	M	モルタル下地
		FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板	AL	アルミニウム	ALC	軽量気泡コンクリート
		GW-B	グラスウールボード	LGS	軽量鉄骨		
		DR	ロックウール吸音板	FB	フラットバー		
				PL	プレート		

[備考]

＊サッシ付額縁：木製80×25程度
＊天井ブラインドボックス：木製t=25 W150×H120程度
＊内部片開扉、内部親子扉、内部両開扉：スチール建具
＊内部多目的便所 片引扉：軽量スチール建具　内部押入：木製建具
上記以外の内部建具：アルミ製建具
＊木板張り：t=12程度
＊木下地：木製胴縁組 30×45@455程度

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計

	/00.00.00	竣工図	保管 / . . 承認 / . .
検図	/00.00.00		確認 / . .
製図	/00.00.00		作成（課長補佐） / . .

訂正　特記

統括	1級建築士登録 第206250号	大坪　泰 印
建築	1級建築士登録 第286712号	篠崎康志 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称：内部仕上表（南庁舎）
縮尺：-

SIAGE_NAIBU.DWG
枚ノ内 ／ 図面番号 6012
区分：建築（総合）

内部仕上表注記[北庁舎]

＊巾木はビニル巾木とする。ただし、壁がタイル仕上の室は巾木もタイルとする。
＊内部天井高さは1階：2800mm　2階：2950mm

2015.07.27 Ver.2

階	室名	床 仕上げ / 下地	壁 柱型 仕上げ / 下地	天井 梁型 仕上げ / 下地	備考
1階	執務室1	ビニル床シート，ビニル床タイル C	GB-R EP(FL+800以上) フレキシブルボード EP(FL+800まで) LGS	DR LGS	
	執務室2	ビニル床タイル OAフロア	GB-R EP LGS	DR LGS	大型機器
	居室1	ビニル床シート C	GB-R EP LGS	DR LGS	
	相談室	ビニル床シート C	フレキシブルボード EP LGS	GB-R+EP LGS	
	休憩室	畳 木下地	GB-R+ビニルクロス LGS	化粧合板 木下地	一部壁：ガラスパーティション（木建）
	事務室1	- C金ゴテ	- C	- C	
	事務室2	フローリング 木下地	GB-R EP 木下地	GB-R EP LGS	
	更衣室	ビニル床シート C	フレキシブルボード EP C	GB-D（T） LGS	手洗い3ヶ
	執務室3	ビニル床タイル C	EP C	GB-R EP LGS	
	書庫	C研ぎ出し C	EP C打放し	EP C打放し	
	女子便所	ビニル床シート C	タイル LGS+M	フレキシブルボード LGS	女子：便器3ヶ・大便器ブース・手洗い1ヶ
	男子便所	ビニル床シート C	タイル LGS+M	フレキシブルボード LGS	男子：便器2ヶ・小便器3ヶ・手洗い1ヶ・大便器ブース 多目的便所（便器1ヶ・多目的シート）
	女子・男子便所 前室	ビニル床シート C	ビニルクロス C	フレキシブルボード LGS	
	玄関	C研ぎ出し C	GB-R EP C	GB-R EP LGS	
	倉庫	- C金ゴテ	- C	- C	
2階	執務室1	ビニル床タイル C	GB-R EP(FL+800以上) 成形板、フレキシブルボード EP(FL+800まで) C／木下地	GB-R EP LGS	
	執務室2	長尺塩ビシート C	合板+ビニルクロス 木下地	有孔ボード 木下地	
	執務室3	ビニル床タイル C	GB-R EP(FL+800以上) フレキシブルボード EP(FL+800まで) 木下地	GB-R EP 木下地	
	放送室	タイルカーペット C	有孔ボード 木下地	GB-D（T） 木下地	
	市長室・応接室1	ビニル床タイル C	GB-R+ビニルクロス 木下地	GB-R EP 木下地	
	会議室(A)(B)・応接室2	ビニル床タイル C	GB-R EP 木下地	GB-R EP 木下地	

階	室名	床 仕上げ / 下地	壁 柱型 仕上げ / 下地	天井 梁型 仕上げ / 下地	備考
	湯沸室1	C研ぎ出し C	GB-R EP C	フレキシブルボード 木下地	流し台：1ヶ
	湯沸室2	ビニル床タイル C	GB-R EP C	GB-R EP 木下地	
	女子・男子更衣室	- C金ゴテ	フレキシブルボード 木下地	GB-R EP 木下地	更衣室前洗面室：手洗い2ヶ
	便所・洗面室3	タイル C	タイル LGS+M	フレキシブルボード LGS	便器2ヶ・小便器4ヶ・手洗い2ヶ・大便器ブース
	階段1・2	C研ぎ出し C	GB-R EP C	GB-R EP LGS	
	外階段1・2	- -	- -	屋根：ポリカーボネート -	
	洗面室1・2	タイル C	フレキシブルボード EP(FL+1400以上) タイル(FL+1400まで) 木下地	GB-R EP 木下地	

内部仕上表注記[西庁舎]　＊巾木は1階：モルタル金ゴテ、2階は木巾木とする。ただし、壁がタイル仕上の室は巾木もタイルとする。

2015.07.27 Ver.2

階	室名	床 仕上げ / 下地	壁 柱型 仕上げ / 下地	天井 梁型 仕上げ / 下地	備考
1階	会議室(A)(B)	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-D(T) / LGS	
	倉庫1・3	- / C金ゴテ	フレキシブルボード EP / LGS	ST折板 / -	大型機器
	倉庫2	- / C金ゴテ	ST折板・一部合板 / C	ST折板 / -	
	男子・女子便所	タイル / C	タイル / LGS+M	フレキシブルボード / LGS	男子：便器2ヶ・小便器3ヶ・手洗い3ヶ・大便器ブース・SK流し1ヶ 女子：便器3ヶ・手洗い3ヶ・大便器ブース
	外階段	ゴムタイル / ST	フレキシブルボード(腰) / S	ポリカーボネート / S造	
2階	執務室1	パーケットフローリング/長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	有孔ボード / LGS	
	執務室2	パーケットフローリング / C	GB-R EP / LGS	有孔ボード / LGS	
	湯沸室	長尺塩ビシート / C	GB-R+ビニルクロス / LGS	GB-D(T) / LGS	流し台1ヶ
	外部廊下	シート（鉄板） / S造	フレキシブルボード(腰) / S	ポリカーボネート / S造	

[略　号]

内部仕上表注記[北庁舎別館]　＊巾木はビニル巾木とする。ただし、壁が吹付タイルの室は、巾木も吹付タイルとする。

2015.07.27 Ver.2

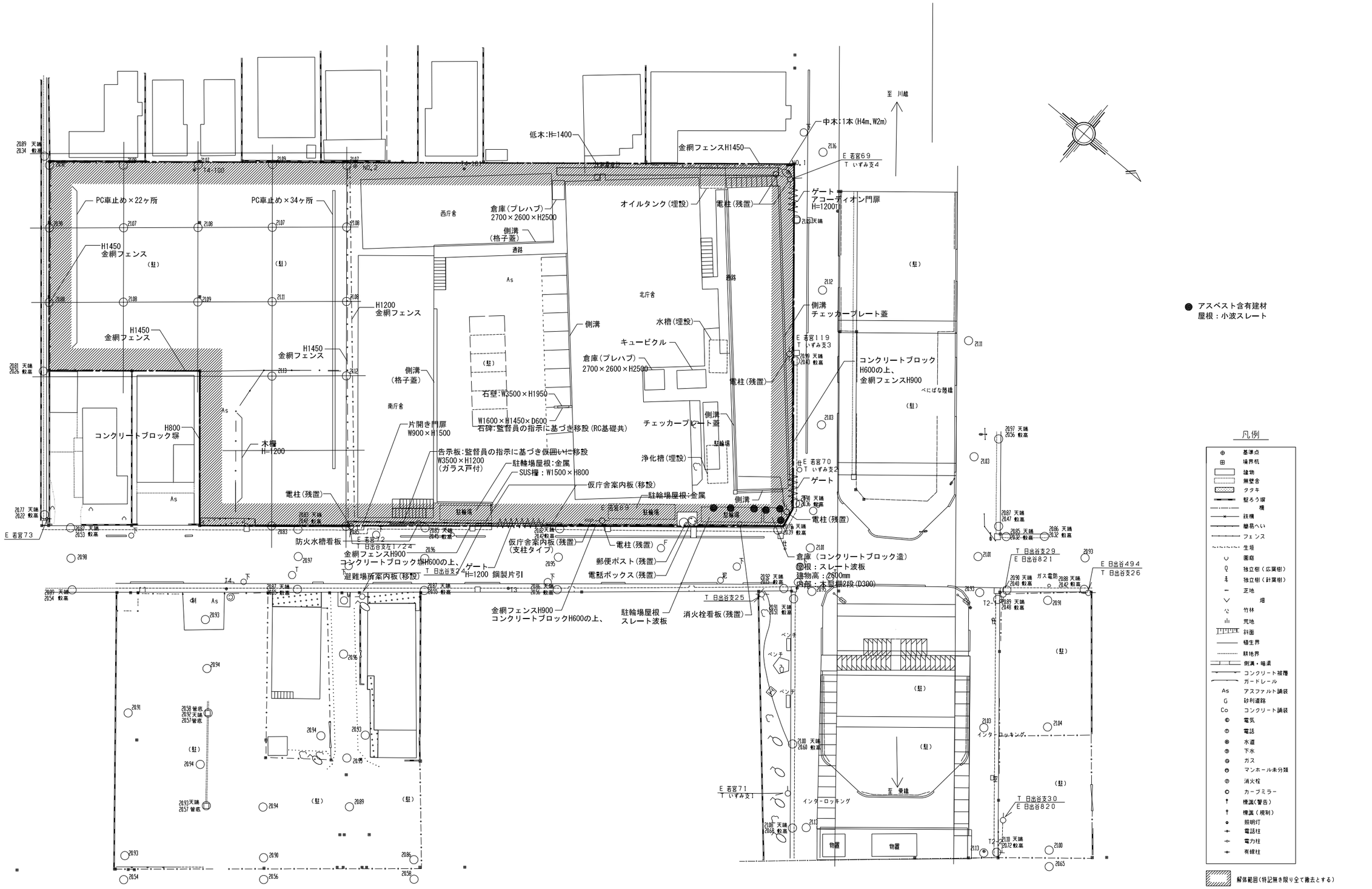
階	室名	床 仕上げ / 下地	壁 柱型 仕上げ / 下地	天井 梁型 仕上げ / 下地	備考
1階	印刷室	塗床 / C	GB-R EP / LGS	GB-D(T) / LGS	
	電算室・サーバー室	長尺塩ビシート / FAフロア	GB-R EP / LGS	GB-D(T) / LGS	
	和室	畳 / 木下地 H=300	GB-R+ビニルクロス / LGS	化粧合板 / LGS	
	教養室	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-D(T) / LGS	
	湯沸室	長尺塩ビシート / C	フレキシブルボード EP / LGS	フレキシブルボード EP / LGS	流し台1ヶ
	男子更衣室	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-D(T) / LGS	
	シャワー室・脱衣室	パーケットフローリング / 木下地 H=100	GB-R EP / LGS	GB-R EP / LGS	ユニットシャワー2個
	用務員室	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-D(T) / LGS	
	倉庫	- / C金ゴテ	- / C	- / C	
	通路	- / C金ゴテ	吹付タイル / ALC	フレキシブルボード / LGS	
	自転車置場	アスファルト / -	吹付タイル / ALC	ST折板 / -	
2階	執務室	長尺塩ビシート / C	GB-R EP / LGS	GB-D(T) / LGS	
	書庫	- / C金ゴテ	GB-R EP / LGS	ST折板 / -	移動書架

[略　号]

EP　合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-R　せっこうボード GB-D(T)化粧せっこうボード（トラバーチン模様） FK　無石綿セメントけい酸カルシウム板 GW-B　グラスウールボード DR　ロックウール吸音板	ST　スチール SUS　ステンレス AL　アルミニウム LGS　軽量鉄骨 FB　フラットバー PL　プレート	C　コンクリート M　モルタル下地 ALC　軽量気泡コンクリート	[備考] ＊サッシ付額縁：木製80×25程度 ＊天井ブラインドボックス：木製t=25 W150×H120程度 ＊内部片開扉、内部親子扉、内部両開扉：スチール建具 ＊内部多目的便所 片引扉：軽量スチール建具　内部押入：木製建具 上記以外の内部建具：アルミ製建具	＊木板張り：t=12程度 ＊木下地：木製胴縁組 30×45@455程度

16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印 建築 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 内部仕上表（西庁舎・北庁舎別館） 縮尺 -
	検図 /00.00.00	確認 / . .					SIAGE_NAIBU.DWG 枚ノ内 / 図面番号 6014 区分 建築(総合)
	製図 /00.00.00	作成 / . .					

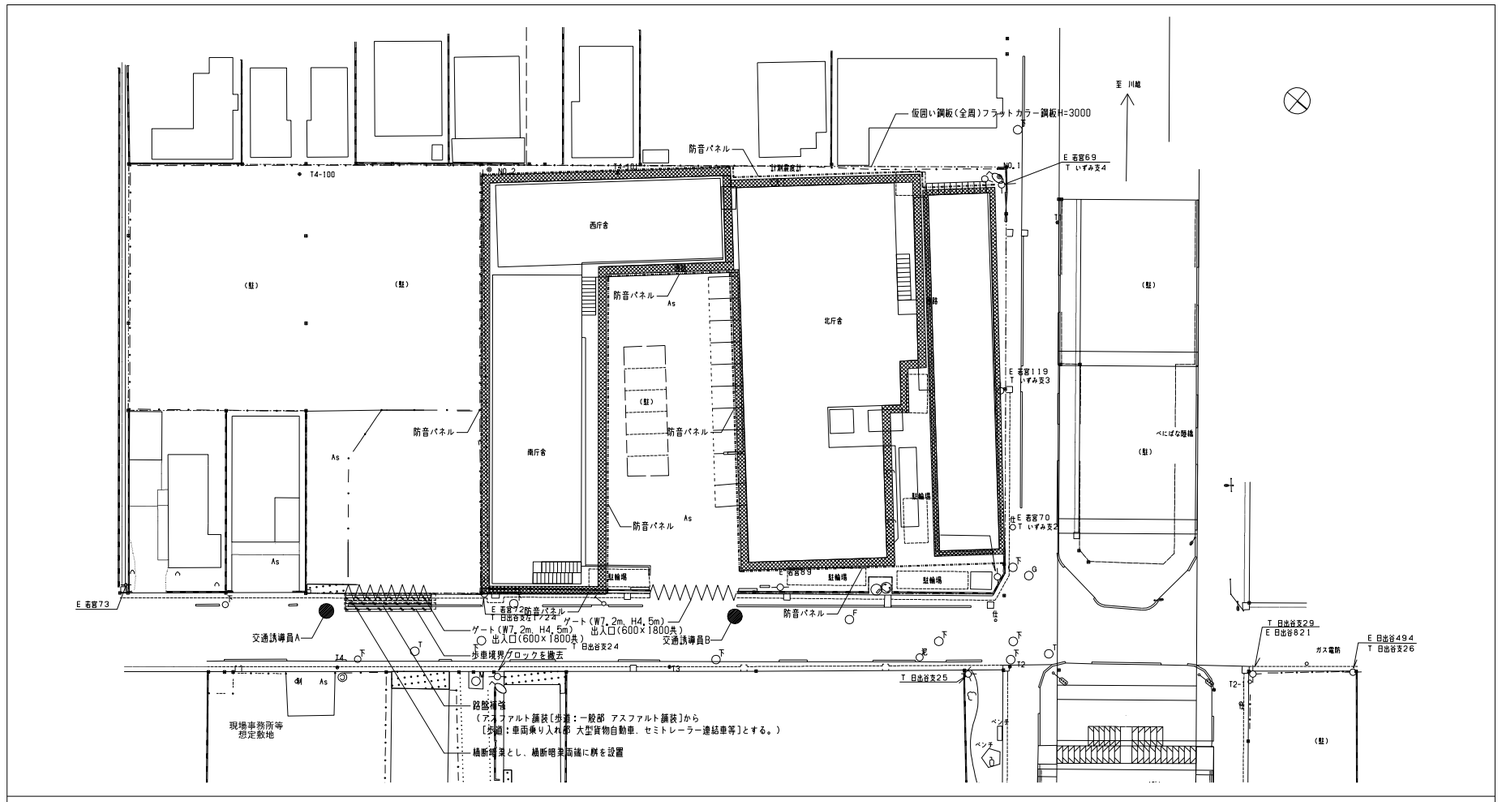


● アスベスト含有建材
屋根：小波スレート

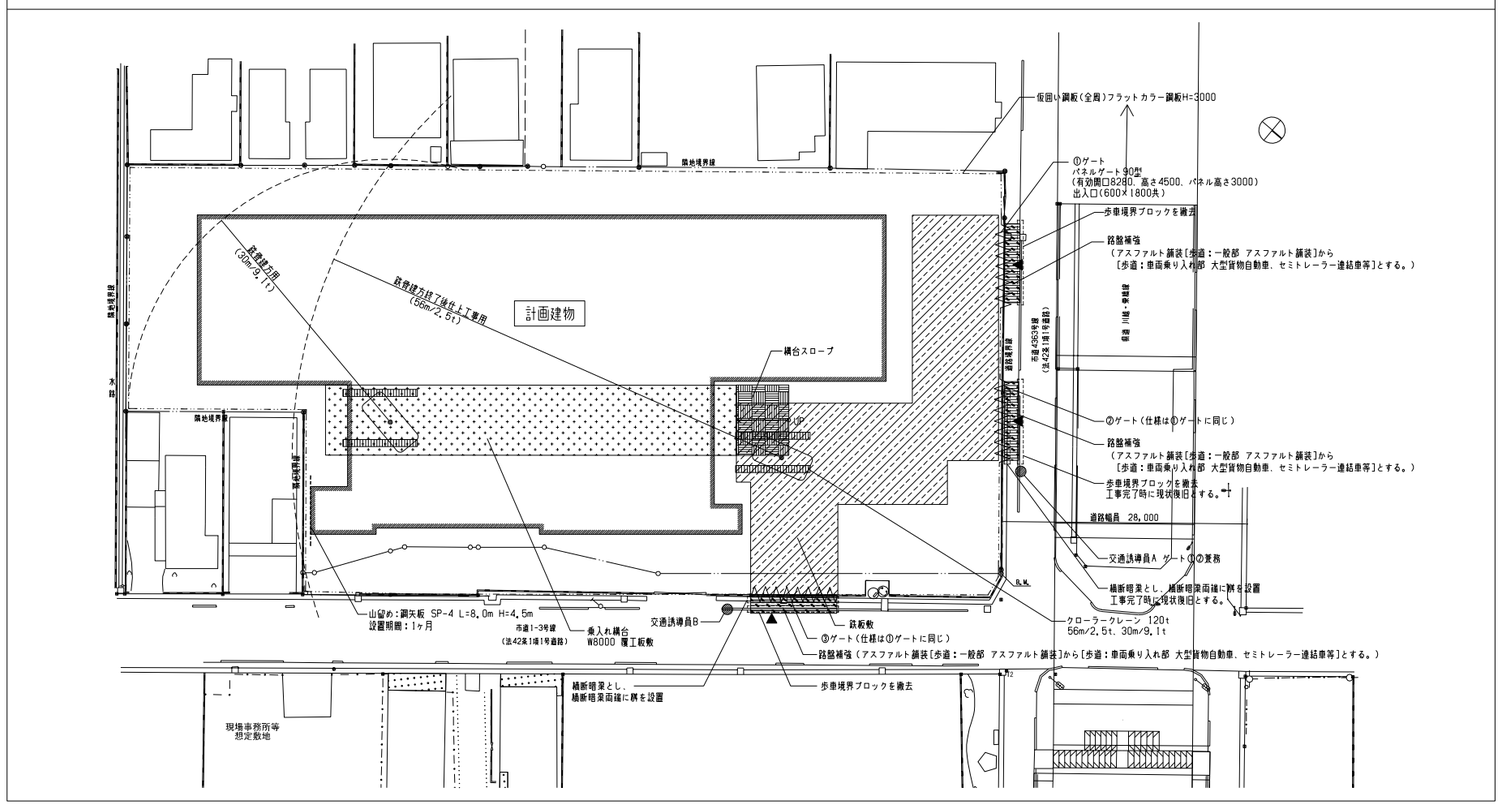
16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図 保管 / 承認 /	訂正	特記	統括 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印 建築 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 解体範囲図－1
	検図 /00.00.00	確認 /					縮尺 A1:1/250, A3:1/500
	製図 /00.00.00	作成 /					

HAI.DWG
枚ノ内 図面番号 6021
区分 建築(総合)



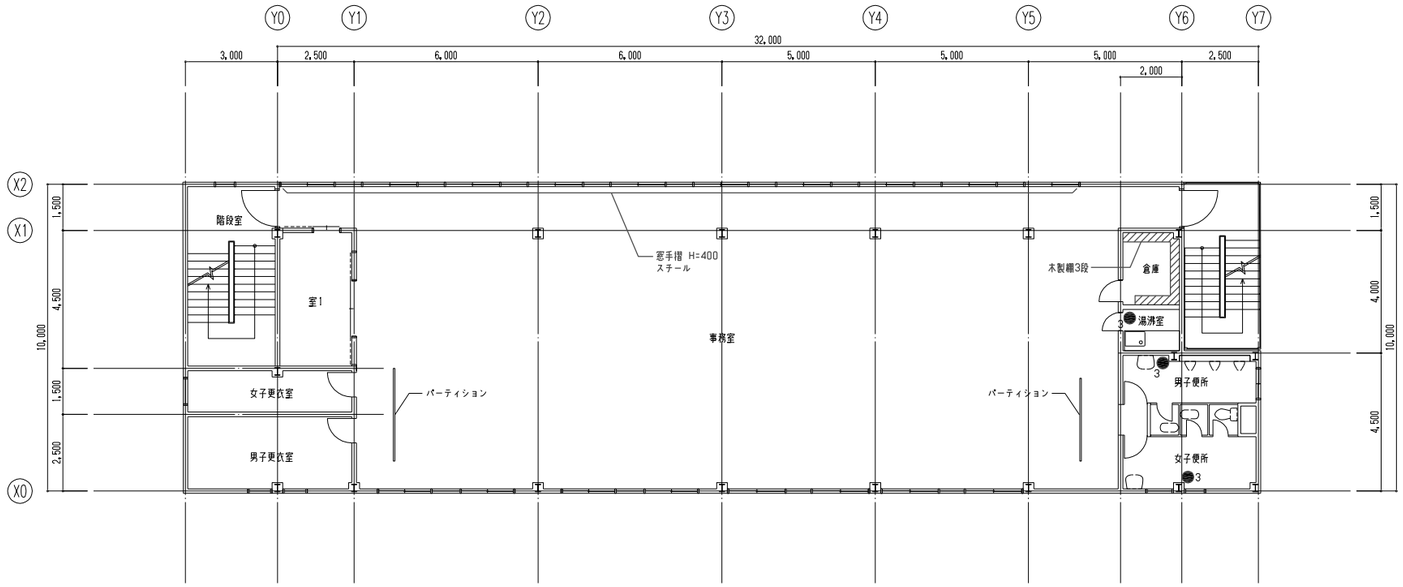
1 旧庁舎解体時



2 新庁舎建設時

16.02.25

日本設計	竣工図 保管 承認 / 確認 / 作成 /	訂正	特記	統括 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印 建築 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 解体範囲図－2 縮尺 A1:1/350 A3:1/700	HA12.DWG 枚ノ内 図面番号 6022 区分 建築(総合)
	検図 /00.00.00 製図 /00.00.00						



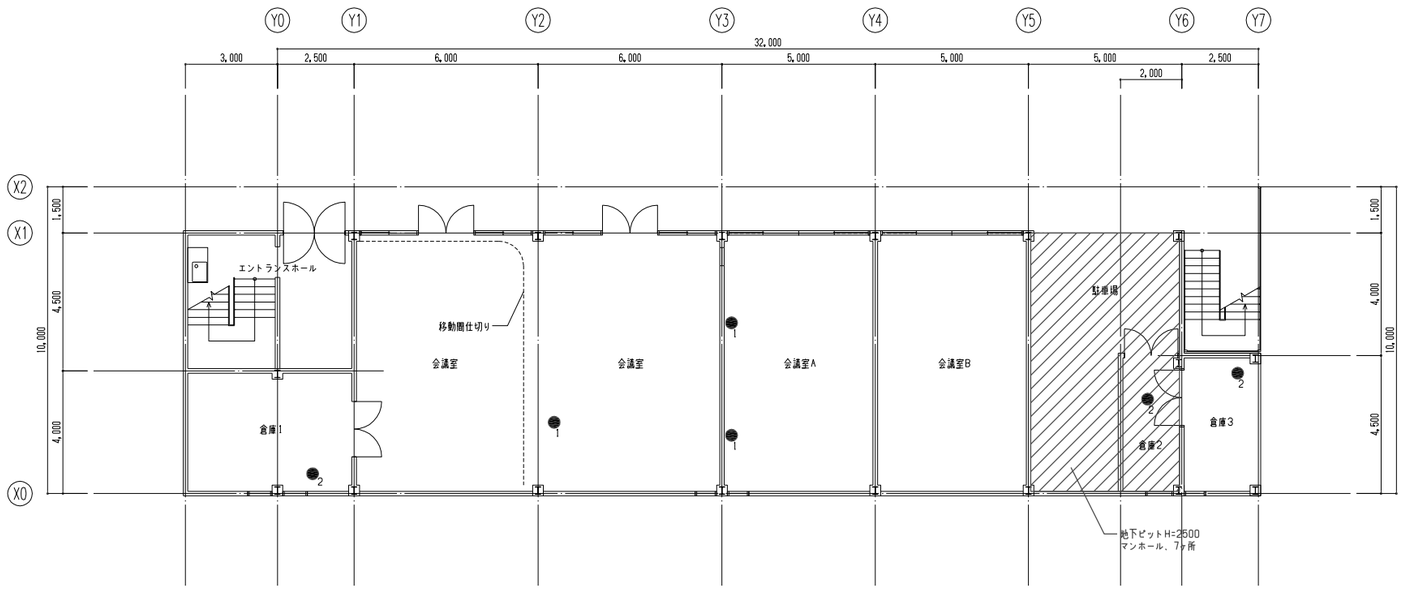
2 2階平面図

● アスベスト含有建材

1.会議室、会議室A(床・巾木):長尺塩ビシート、ビニル巾木(接着剤)
会議室B(巾木)

2.倉庫1~3(天井配管エルボ):保温材
階段室(段裏):フレキシブルボード
事務室、倉庫、湯沸室(床):長尺塩ビシート、接着材

3.男子便所、女子便所(天井)、湯沸室(壁・天井):フレキシブルボード
階段室(段裏):フレキシブルボード
事務室、倉庫、湯沸室(床):長尺塩ビシート、接着材



1 1階平面図

16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図	保管 / . . 承認 / . .
	検図 /00.00.00		確認 / . .
	製図 /00.00.00		作成(事務所) / . .

訂正 . . . . .

特記

統括	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
建築	1級建築士登録第286712号	薄崎康志 印

桶川市新庁舎建設工事

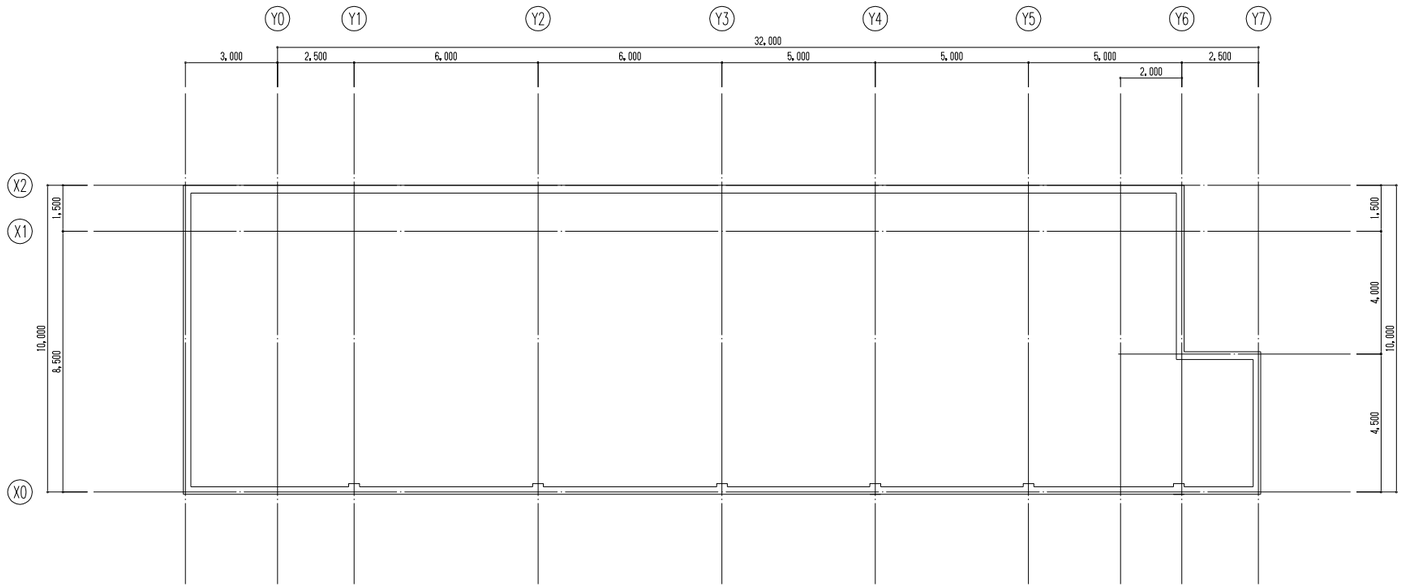
図面名称: 1・2階平面図(南庁舎)

縮尺: A1:1/100, A3:1/200

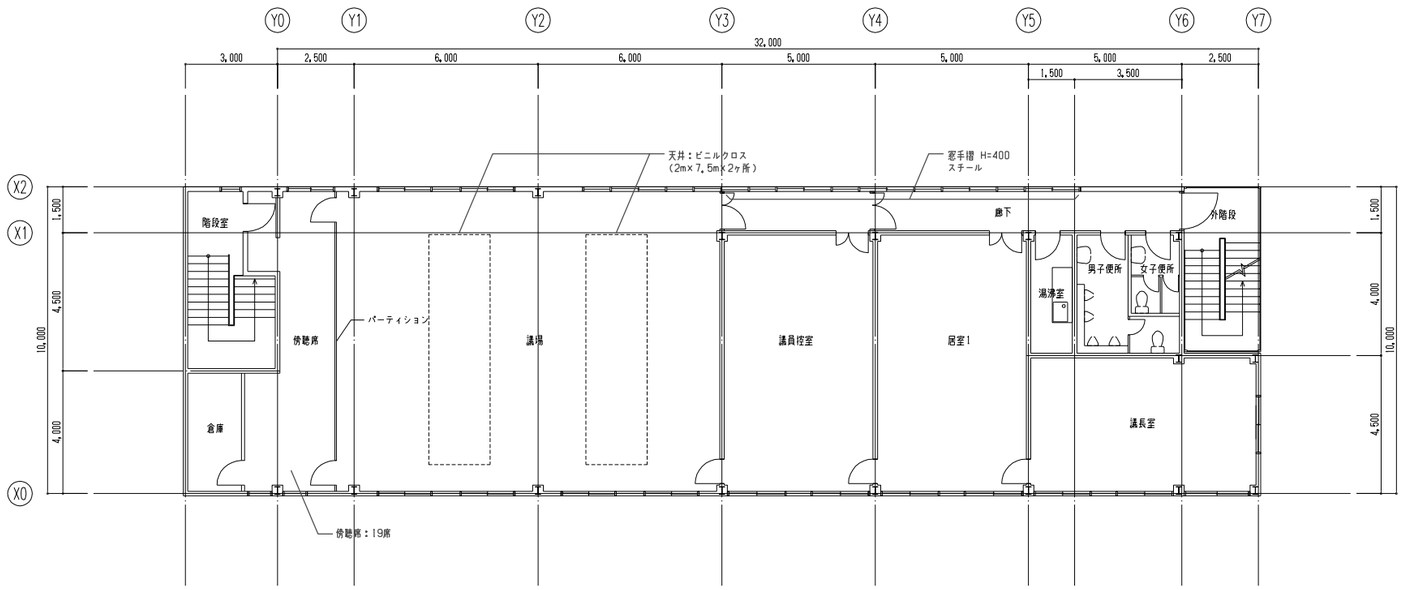
PLN_南庁舎.DWG

枚ノ内 / 図面番号 6023

区分: 建築(総合)



4 屋根伏図



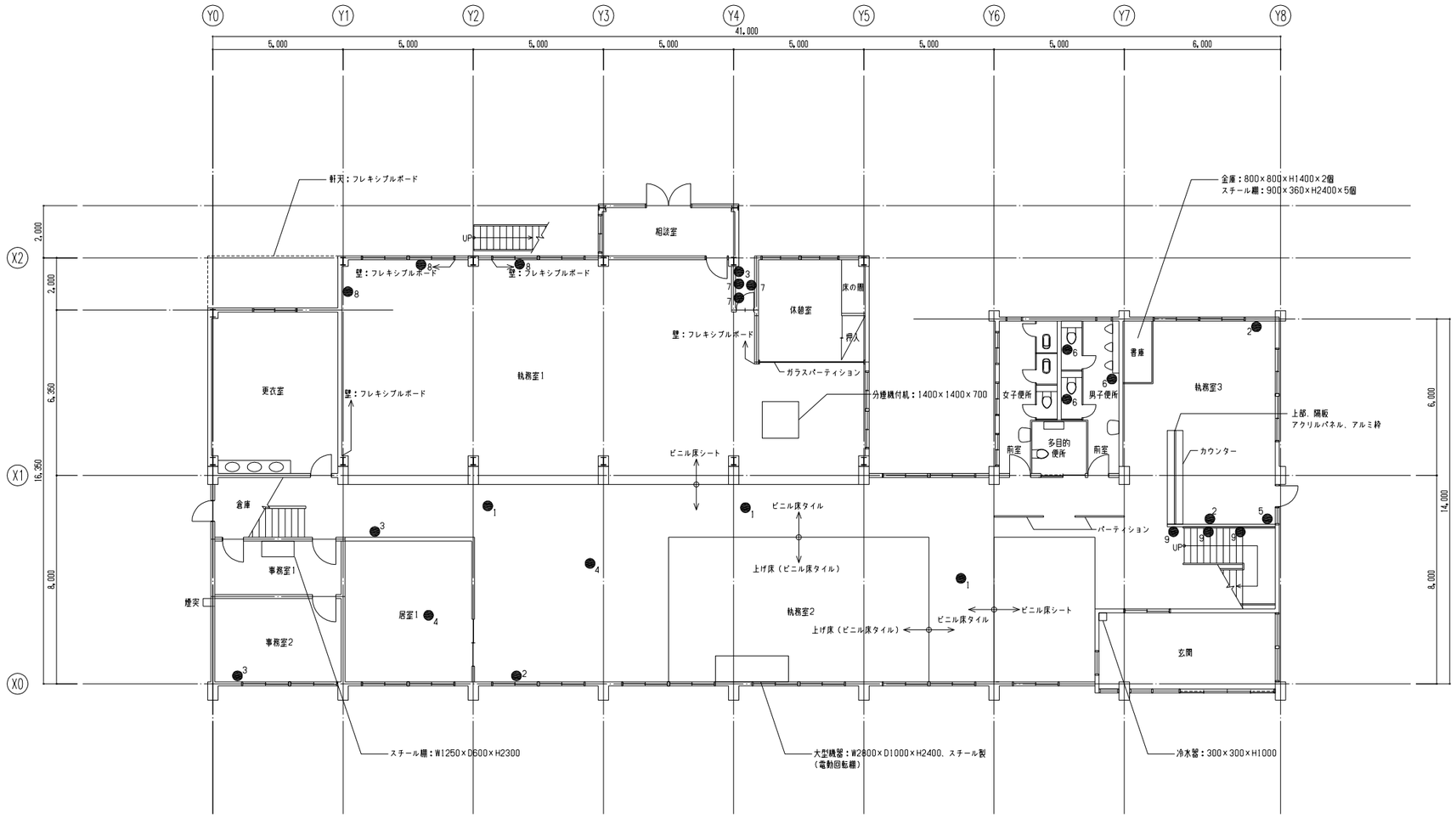
3 3階平面図

アスベスト含有建材
廊下(床)：長尺塩ビシート、接着材
湯沸室、廊下(壁)、階段室(段裏)：フレキシブルボード

16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事
	検図 /00.00.00		確認 / . .			建築 1級建築士登録第286712号 薄崎康志 印	
	製図 /00.00.00		作成 / . .				

図面名称	3階平面図·屋根伏図（南庁舎）	PLN_南庁舎.DWG
縮尺	A1:1/100, A3:1/200	枚ノ内 / 図面番号 6024
		区分 建築(総合)



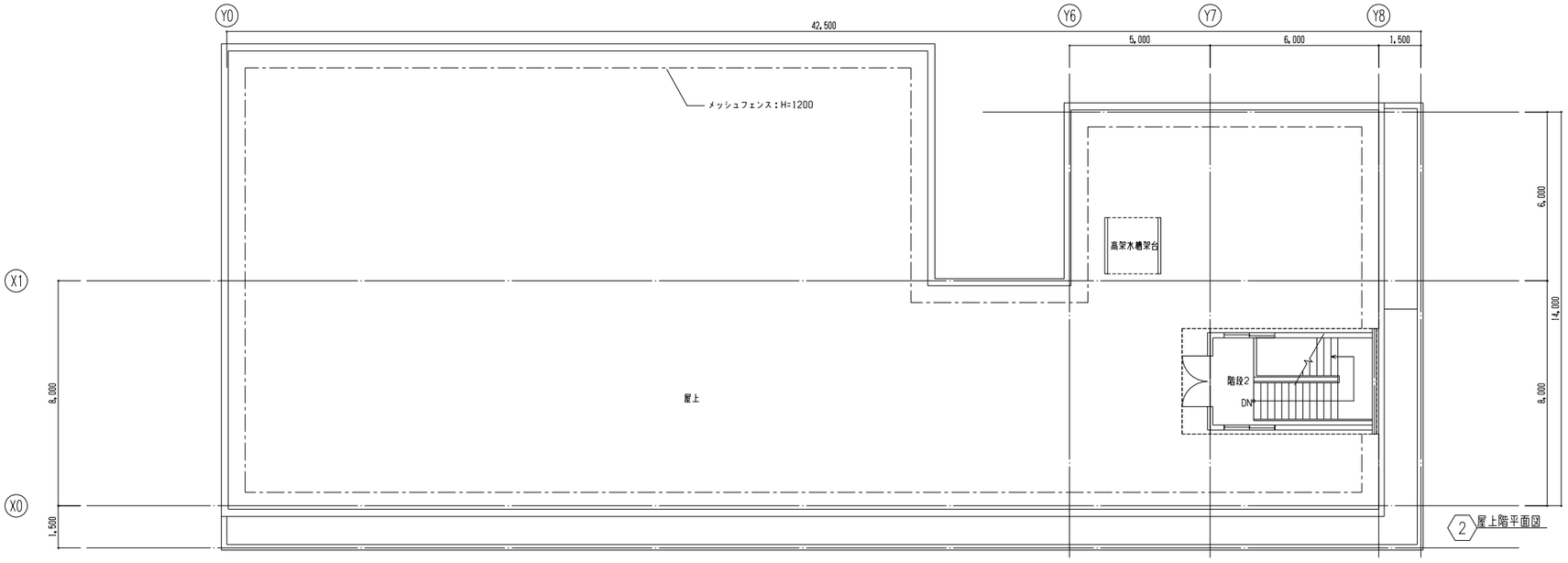
1 1階平面図

● アスベスト含有建材

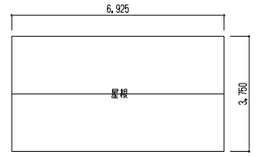
1. 執務室2(床)：ビニル床タイル
2. 執務室2、3(巾木)：ビニル巾木、接着材
3. 事務室2(天井)、執務室2(壁)、通路(天井、壁)：石膏ボード
4. 居室1、執務室2(天井)：ロックウール吸音天井板
5. 執務室3、玄関(天井配管エルボ)：保温材
6. 男子便所(天井)：フレキシブルボード
7. 通路(壁)：フレキシブルボード
8. 執務室1、更衣室、相談室(壁)：フレキシブルボード
9. 階段室(壁)：フレキシブルボード

16.02.25

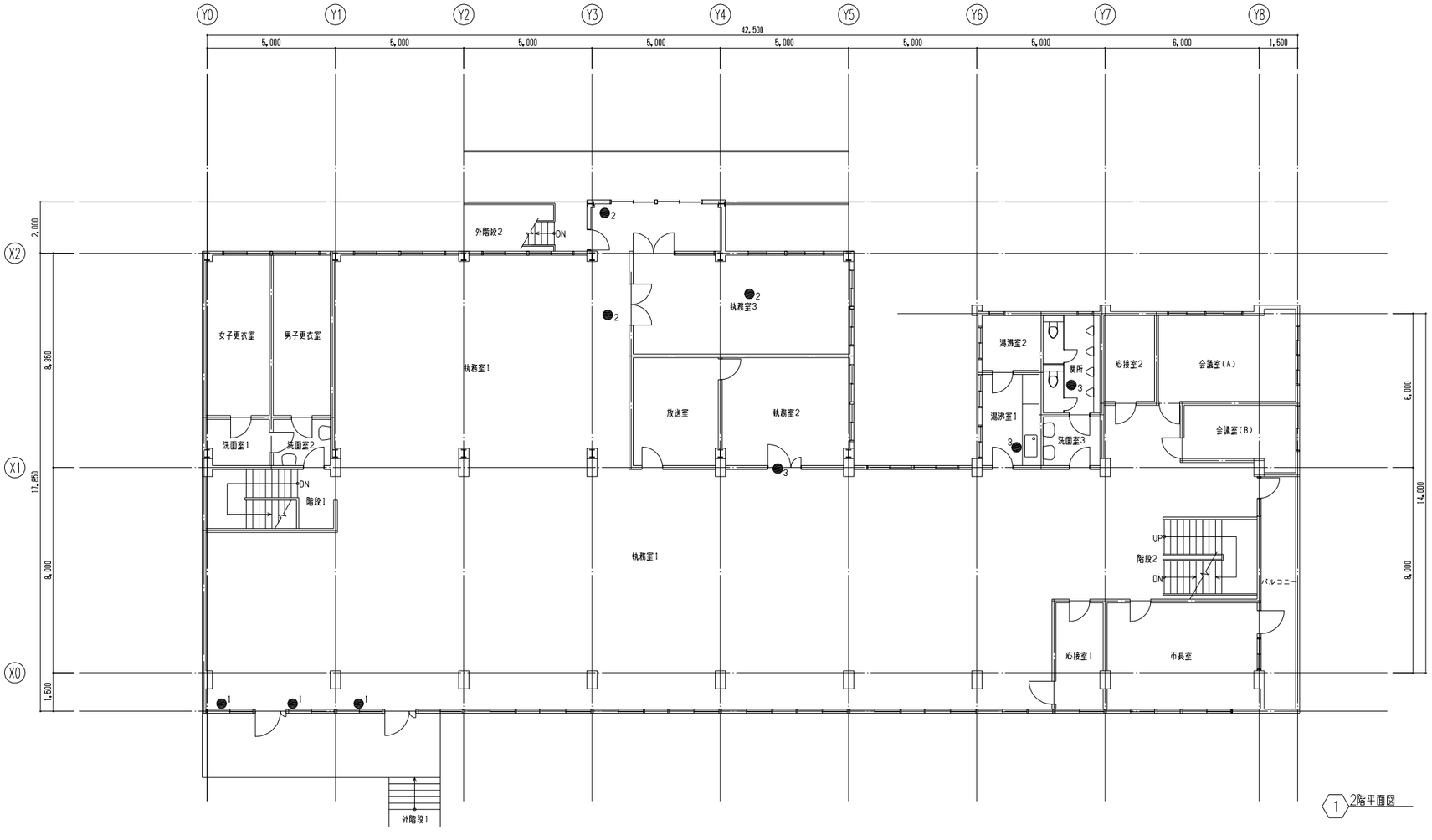
日本設計	検図 /00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正 .	特記	統括	1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 1階平面図（北庁舎）	PLN_北庁舎.DWG
	製図 /00.00.00	確認 / . .	.		建築	1級建築士登録 第286712号 薄崎康志 印		縮尺 A1:1/100, A3:1/200	枚ノ内 図面番号 6025
		作成（調査者） / . .	.						区分 建築(総合)



2 屋上階平面図



3 PH階屋根伏図



1 2階平面図

● アスベスト含有建材

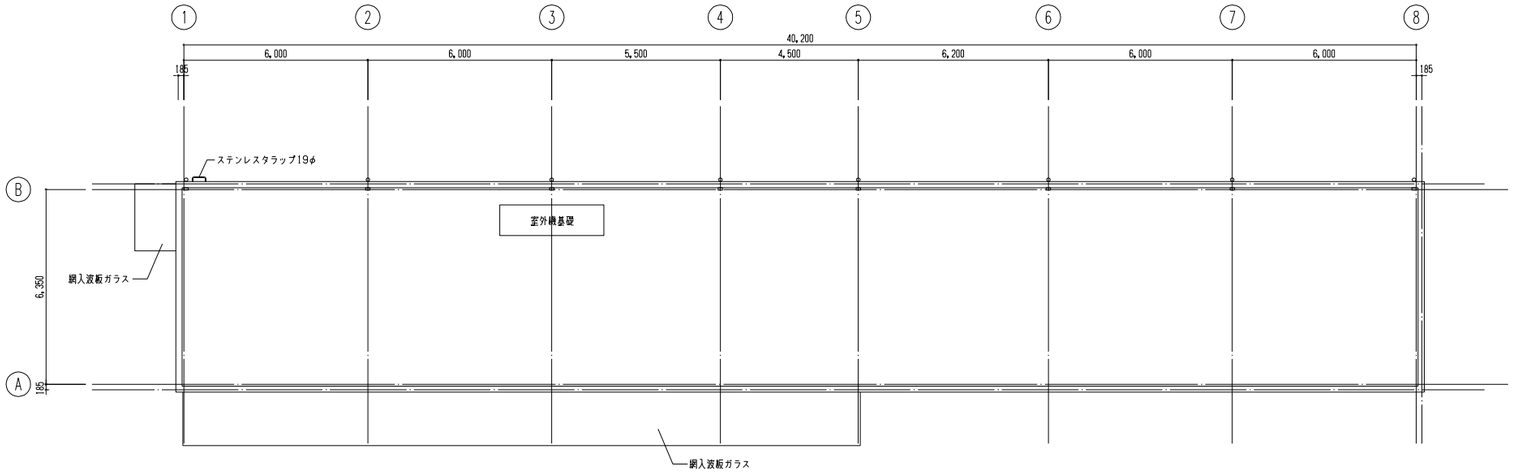
執務室1、湯沸室2、応接室2、会議室(B)、応接室1、会議室(A)(床)：ビニル床タイル、接着材
応接室2、会議室(A)(B)、応接室1、市長室(巾木)：ビニル巾木、接着材
執務室1、応接室2、会議室(A)(B)、応接室1、市長室、階段2(壁)：石膏ボード
執務室1・3、洗面室、女子更衣室、男子更衣室(壁)：フレキシブルボード

1. 執務室1(腰)：成形板
2. 執務室1・3(床)：ビニル床タイル、接着剤
3. 執務室1(壁)、湯沸室1、洗面室、便所(天井)：フレキシブルボード

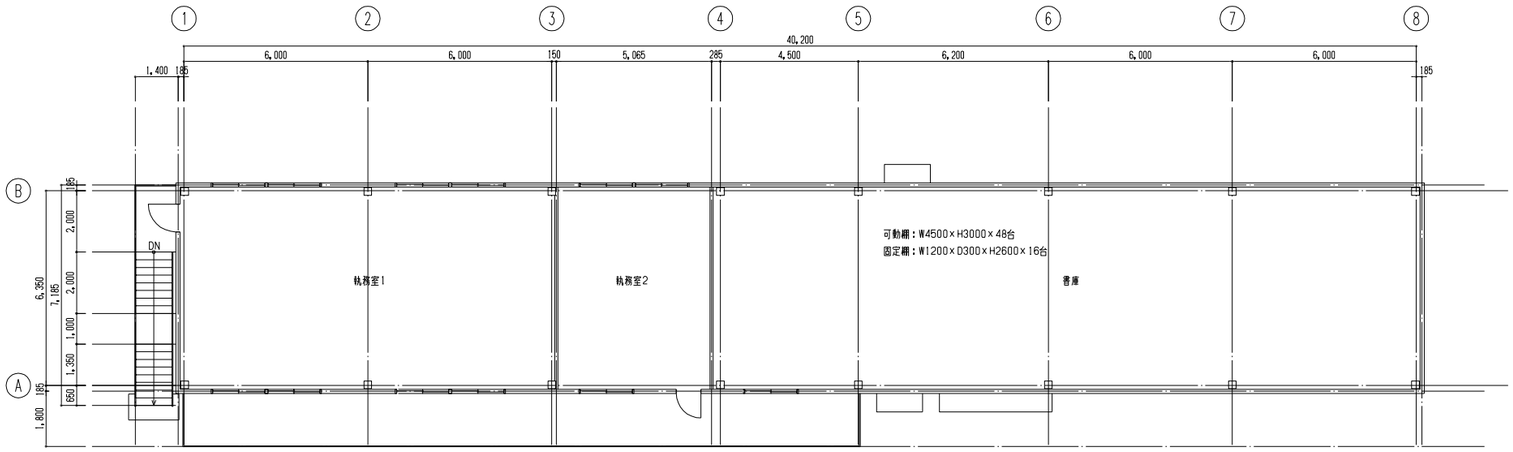
16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印 建築 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印	桶川市新庁舎建設工事
	検図 /00.00.00		確認 / . .				
	製図 /00.00.00		作成(協力者) / . .				

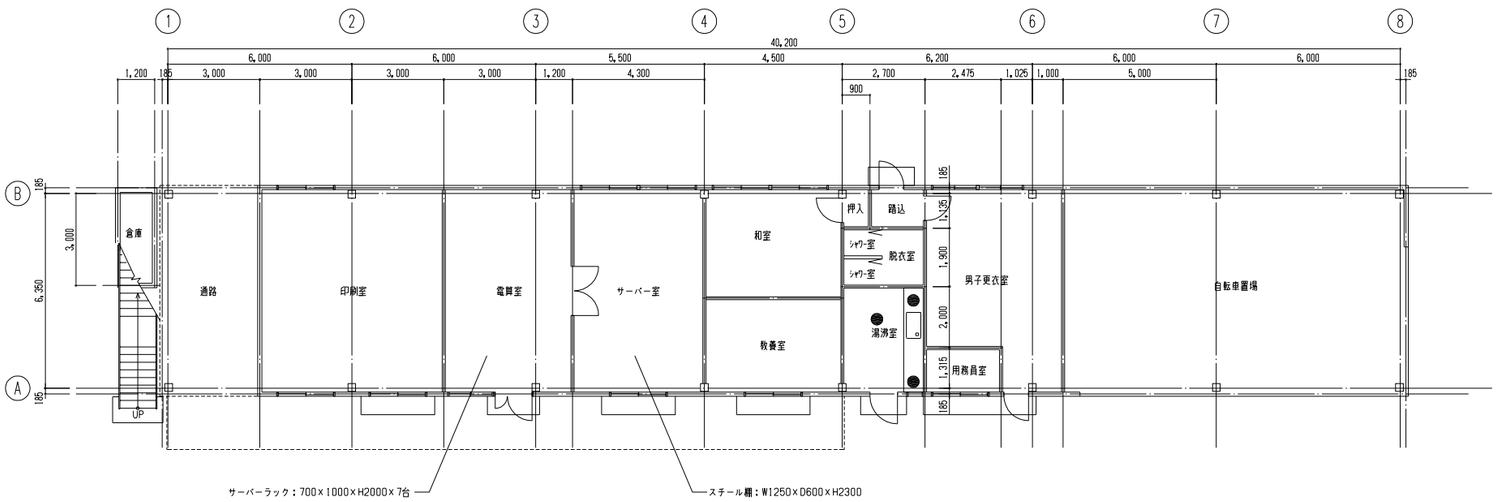
図面名称	2階平面図・屋上階平面図 PH階屋根伏図（北庁舎）
縮尺	A1:1/100, A3:1/200
PLN_北庁舎.DWG	
枚ノ内 / 図面番号	6026
区分	建築(総合)



3 R階平面図



2 2階平面図



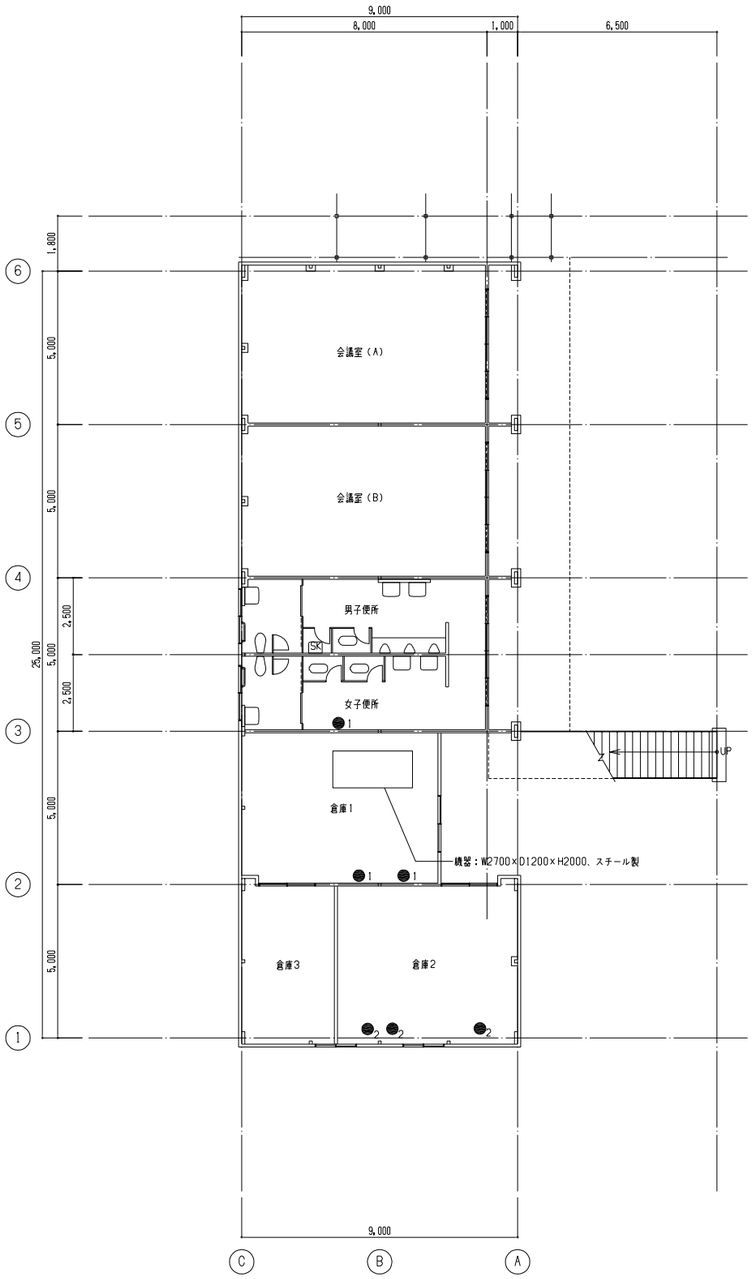
アスベスト含有建材
湯沸室(壁・天井)：フレキシブルボード

1 1階平面図

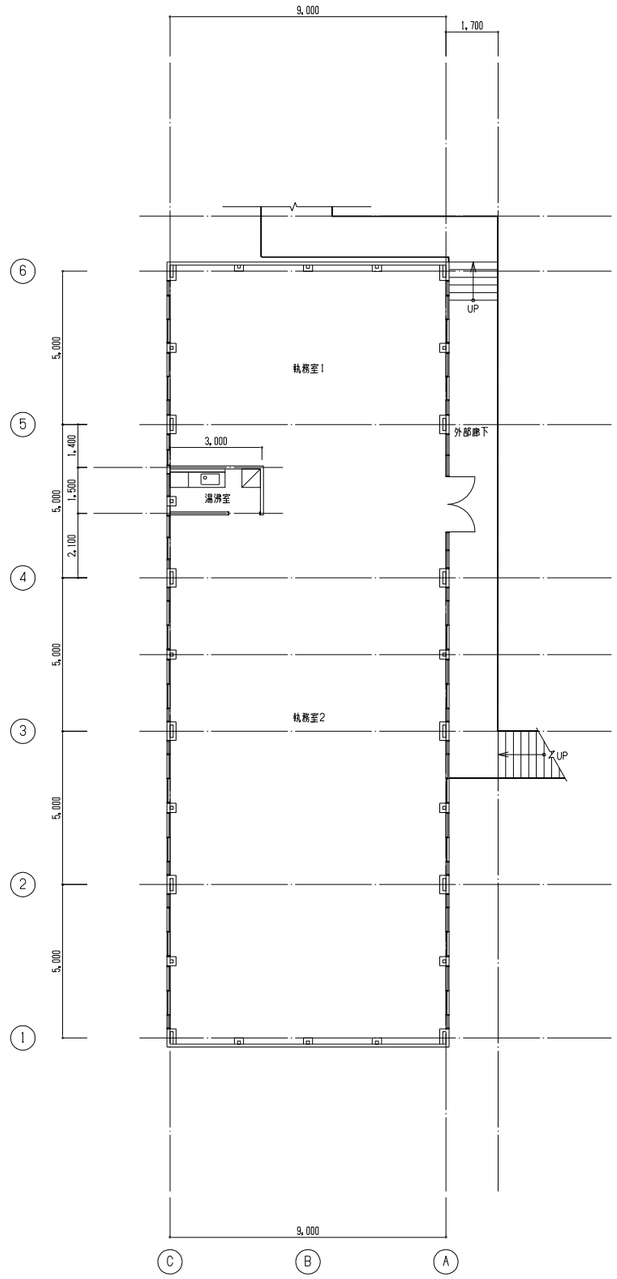
16.02.25

日本設計	/00.00.00 検図 /00.00.00 製図 /00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . . 確認 / . . 作成(施角者) / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印 建築 1級建築士登録 第286712号 薄崎康志 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 1・2階平面図，屋根伏図（北庁舎別館） 縮尺 A1:1/100，A3:1/200	PLN_北庁舎別館.DWG 枚ノ内 / 図面番号 6027 区分 建築(総合)

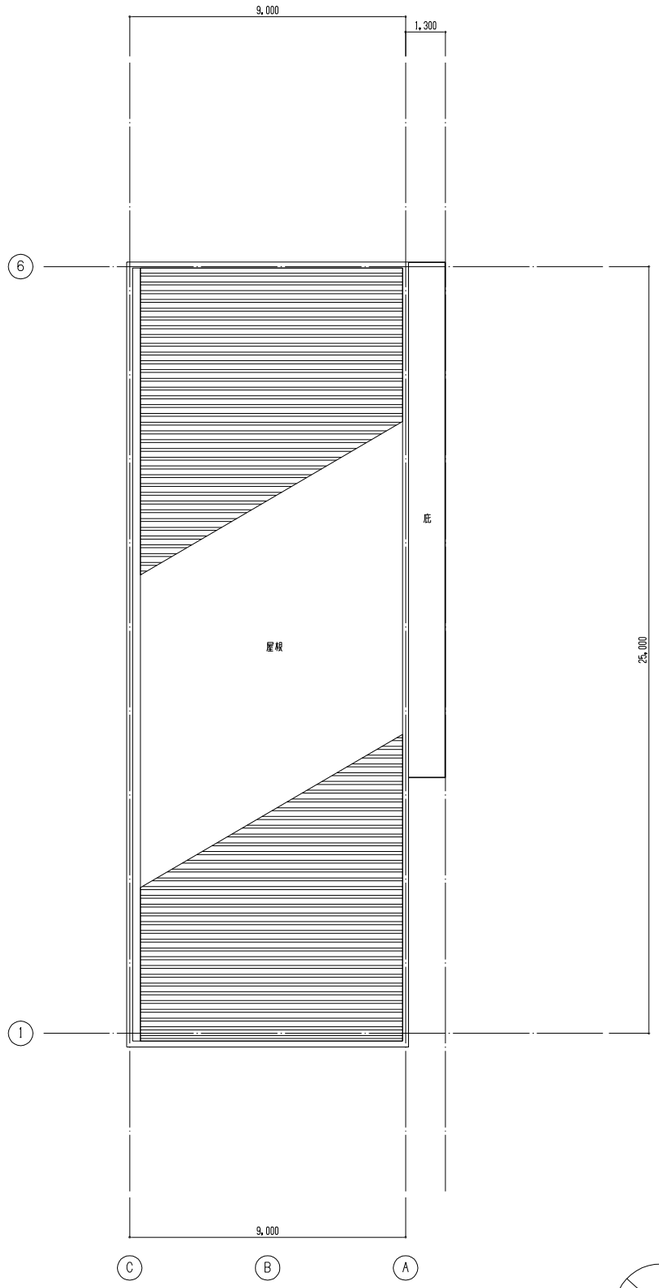
● アスベスト含有建材
1. 倉庫1(壁)、便所(天井)；フレキシブルボード
2. 倉庫2(天井配管エルボ)：保温材



1 1階平面図



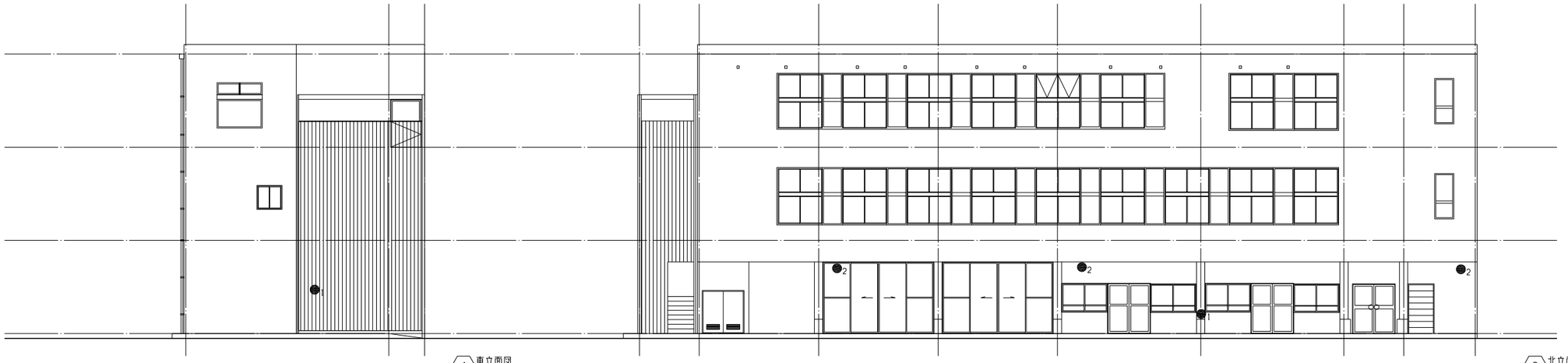
2 2階平面図



3 屋根伏図

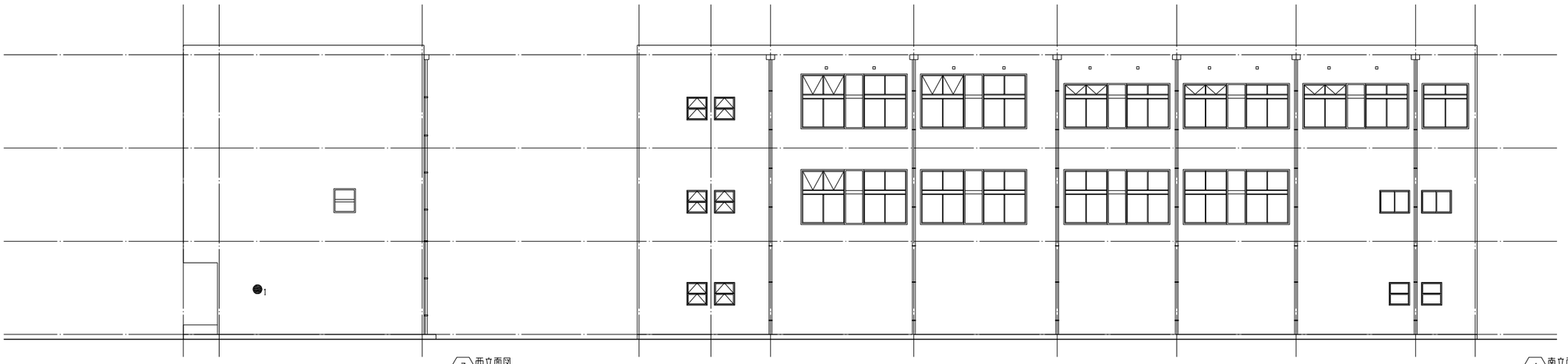
16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 1・2階平面図，屋根伏図（西庁舎）	PLN_西庁舎.DWG
	検図 /00.00.00	確認 / . .			建築 1級建築士登録第286712号 薄崎康志 印		縮尺 A1:1/100，A3:1/200	枚ノ内 図面番号 6028
	製図 /00.00.00	作成（施工者） / . .						区分 建築（総合）



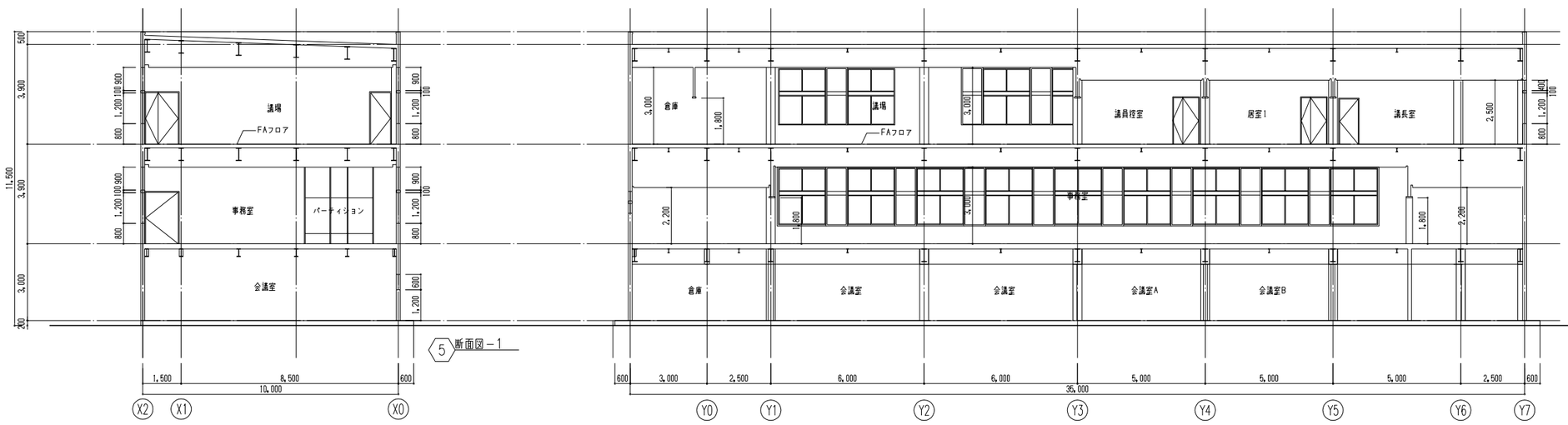
1 東立面図

2 北立面図



3 西立面図

4 南立面図



5 断面図－1

6 断面図－2

● アスベスト含有建材

1. 外壁：リシン吹付け、調整塗材
2. 軒天：フレキシブルボード

●外壁(リシン吹付け、調整塗材)は、南庁舎全体を囲い込み工法にて除去すること。

16.02.25

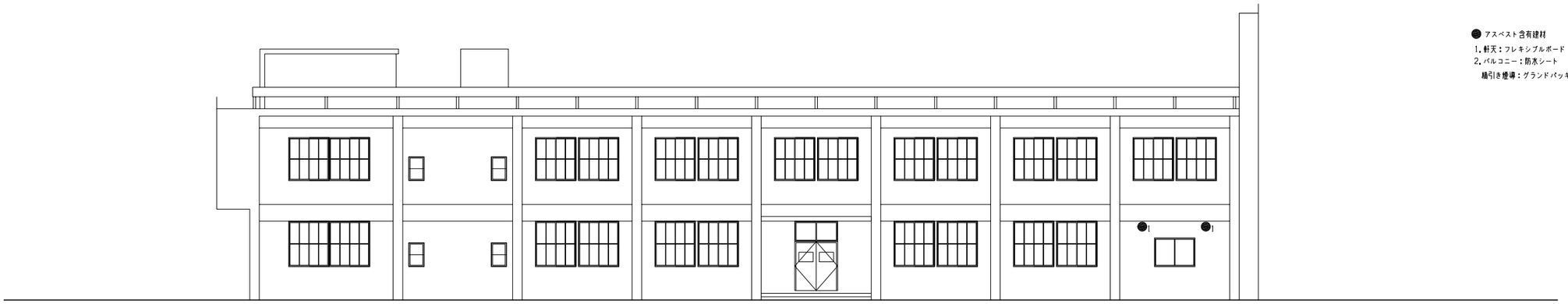
日本設計	/00.00.00	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括	1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 立面図・断面図（南庁舎）
	検図 /00.00.00		確認 / . .			建築	1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
	製図 /00.00.00		作成（協角者） / . .						

ELE-SEC_南庁舎.DWG

枚ノ内 ／ 図面番号 6031

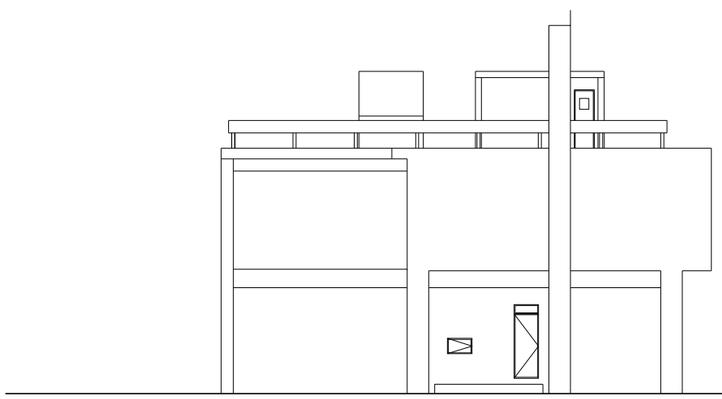
区分 建築（総合）

1 南立面図



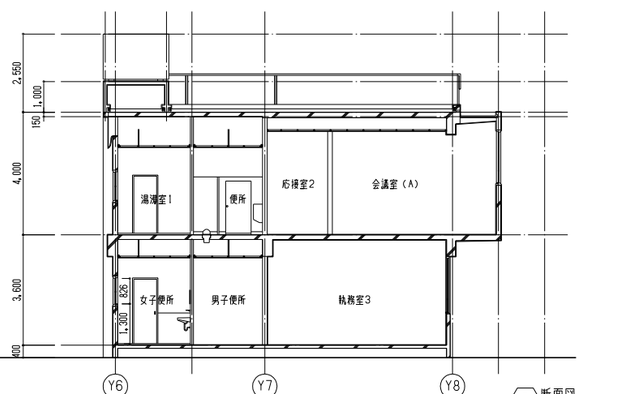
2 北立面図

● アスベスト含有建材
1. 軒天：フレキシブルボード
2. バルコニー：防水シート
樋引き煙導：グランドパッキン



3 西立面図

4 東立面図



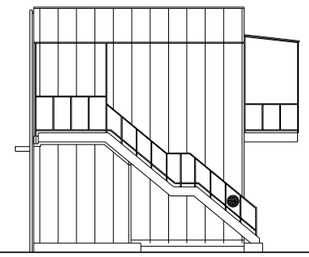
5 断面図

16.02.25

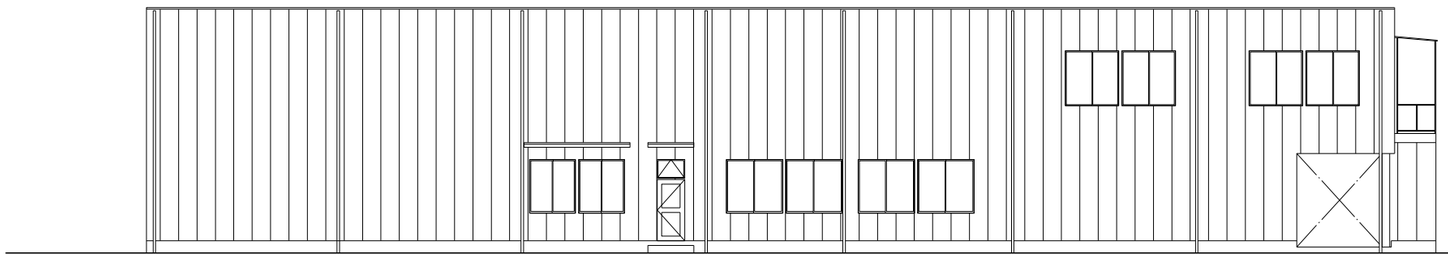
日本設計	/00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 立面図・断面図（北庁舎）
	検図 /00.00.00	確認 / . .			建築 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
	製図 /00.00.00	作成（協力者） / . .					区分 建築（総合）

ELE-SEC_北庁舎.DWG
／ 枚ノ内 図面番号 6032

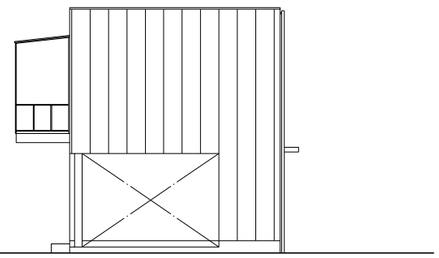
1 南立面図



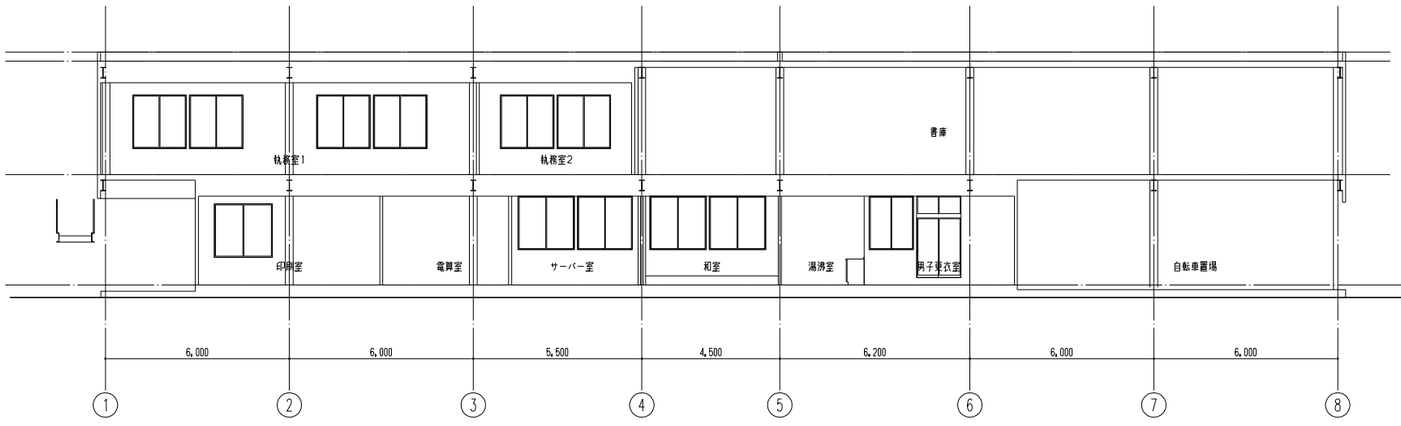
2 東立面図



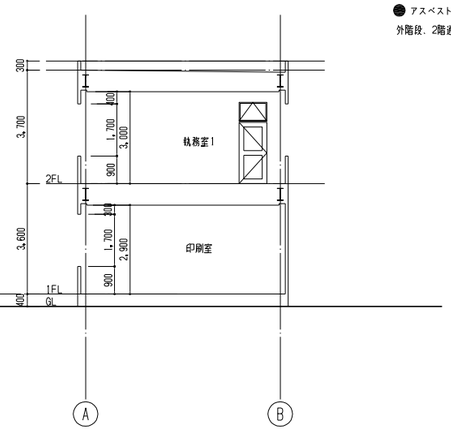
3 北立面図



4 東立面図



5 断面図－1



6 断面図－2

● アスベスト含有建材

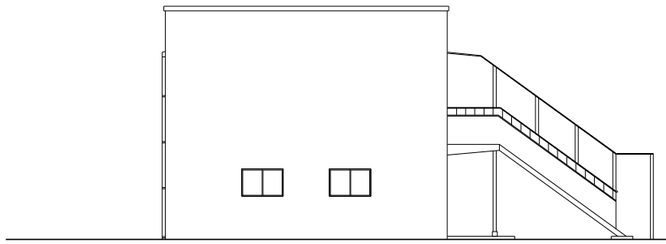
外階段、2階通路(壁)、1階通路(軒天)：フレキシブルボード

16.02.26

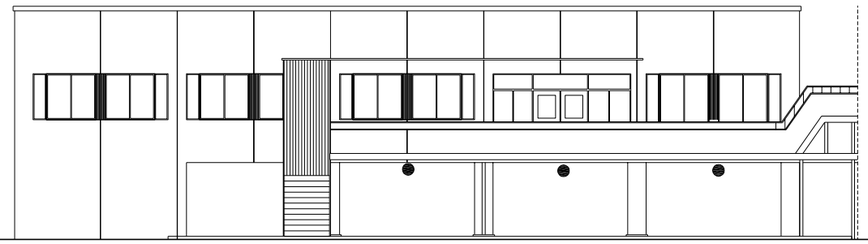
日本設計	/00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 立面図・断面図（北庁舎別館）
	検図 /00.00.00	確認 / . .			建築 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
	製図 /00.00.00	作成（消去者） / . .					区分 建築（総合）

ELE-SEC_北庁舎別館.DWG

／ 枚ノ内 図面番号 6033

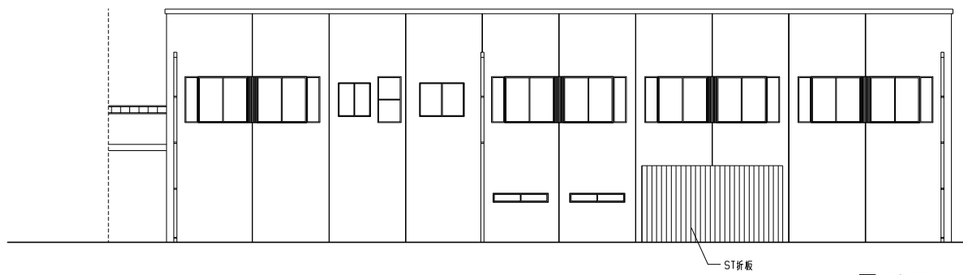


1 南立面図

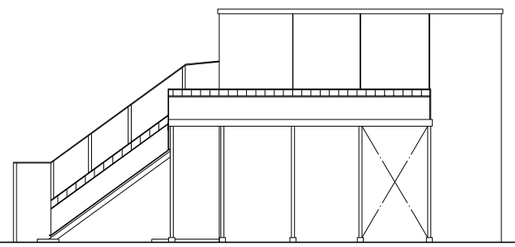


2 東立面図

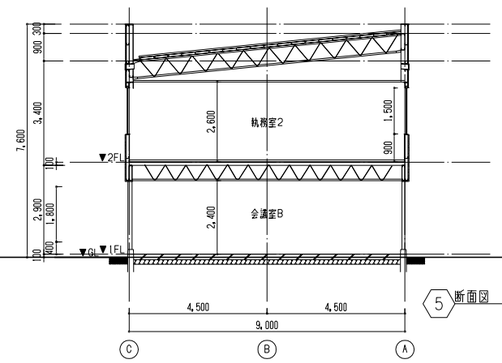
● アスベスト含有建材
軒天、梁：石綿板



3 西立面図



4 北立面図

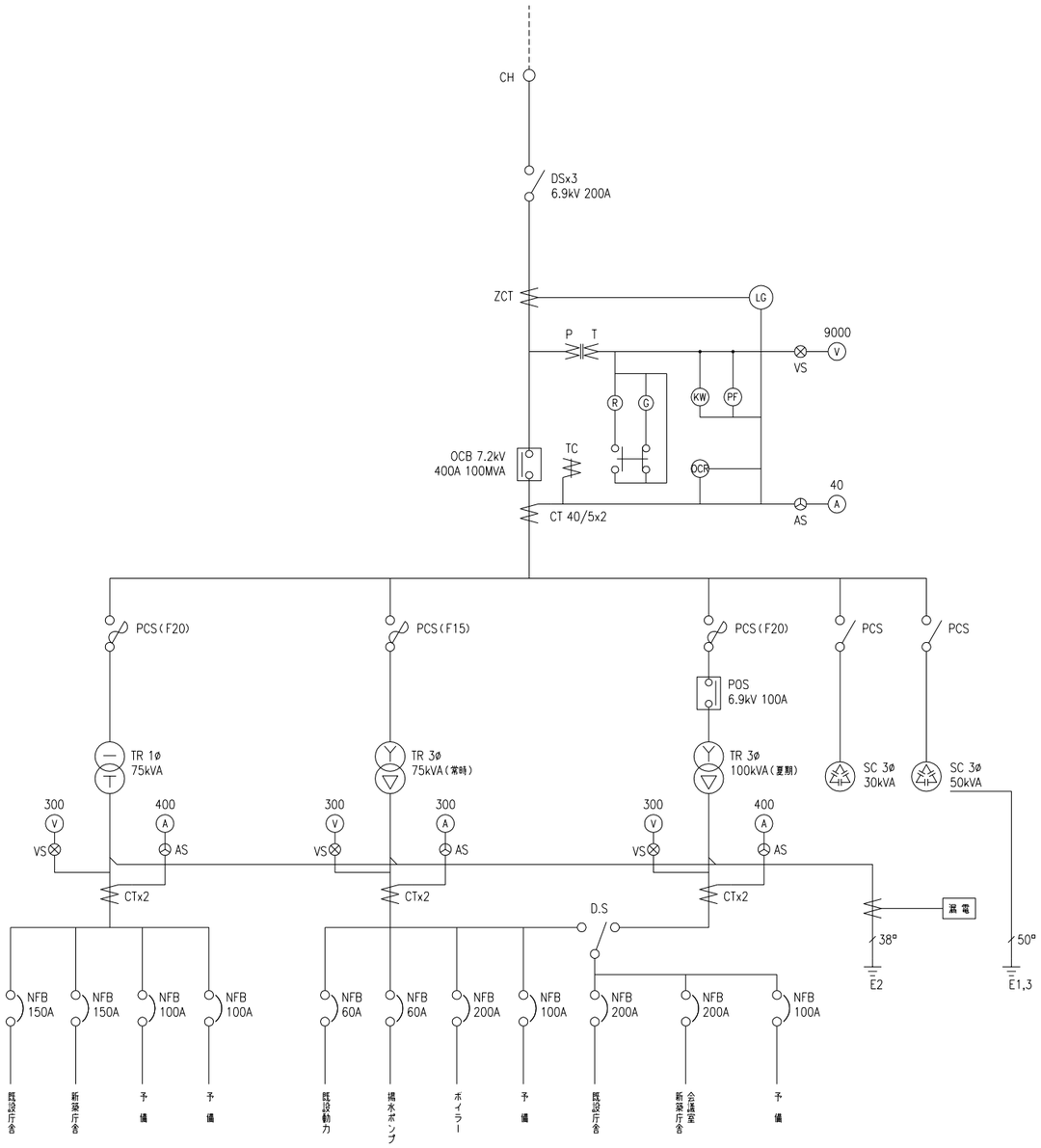


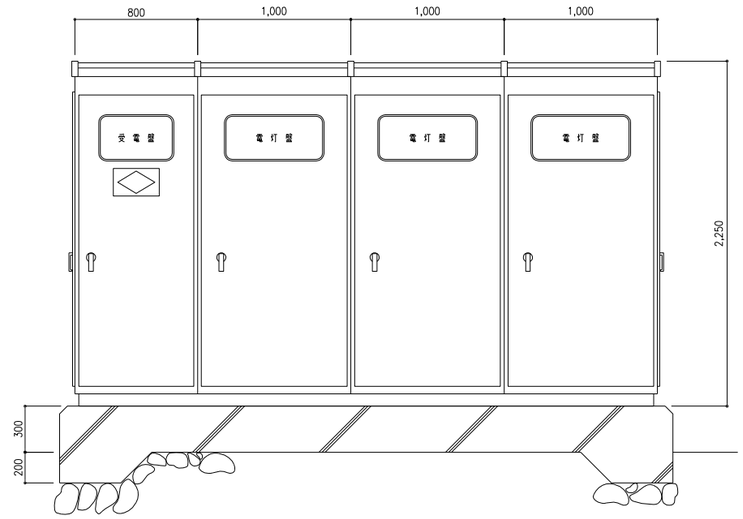
5 断面図

16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図	保管 / . .	承認 / . .	訂正	特記	統括	1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事
	検図 /00.00.00		確認 / . .				建築	1級建築士登録第286712号 薄崎康志 印	
	製図 /00.00.00		作成（実施者） / . .						

図面名称	立面図・断面図（西庁舎）	ELE_西庁舎.DWG	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	枚ノ内 / 図面番号	6034
		区分	建築（総合）





キュービクル参考図 S=1/20

凡例

記号	名称
D.S	テスコンスイッチ
ZCT	零相変流器
LG	接地継電器
P.T	計器用変圧器
C.T	計器用変流器
OCB	油入遮断器
KW	電力計
P.F	力率計
OCR	過負荷継電器
V	電圧計
A	電流計
PCS	プライマリースイッチ
Tr	変圧器
SC	コンデンサー
NFB	ノーフューズブレーカー

1. キュービクルは屋外設置、防水型とし、面体は2.3t、扉は3.2tの鉄板とし、指定色メッキ仕上げとする。
2. 30cm型圧力扉1台を取付け、自動運転とする。
3. PT及びCTはコイルモールド型とする。
4. OCRは瞬時要素付きとする。

16.02.25

日本設計	/00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	統括 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印 建築 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 単線結線図・機器参考図
	検図 /00.00.00	確認 / . .					縮尺 A1:1/20 A3:1/40
	製図 /00.00.00	作成(協力者) / . .					単線結線図、機器参考図.DWG 枚ノ内 / 図面番号 6041 区分 建築(総合)

南庁舎

[電 気]旧庁 舎撤去リスト①

階	室名	設備仕様 種類	照明形状	設置方式	灯数	サイズ(型)	サイズ(W,D,H)			台数	備考
1	駐車場	照明	トラフ	天井直付	1	40W				2	
1	駐車場 奥倉庫	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
1	会議室	照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				19	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
1	会議室A	照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				6	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
1	会議室B	照明	トラフ	ハイフ吊	1	40W				10	
		照明	ダウンライト	天井埋込	1	コンパクト蛍光灯27W				6	
1	エントランスホール	照明	富士	天井直付	2	20W				1	
		照明	誘導灯	壁付	1	20W				1	
1	階段(東)	照明	シーリングライト	壁付	2	20W				4	
1	階段(西)	照明	富士	天井直付	2	20W				2	
2	事務室	照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				2	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
		照明	反射笠	配線ダクト取付	2	40W				51	
		照明	誘導灯	壁付	1	20W				1	
		盤					600	200	600	1	
		盤					400	100	350	1	
		盤					550	100	250	1	
		盤					500	300	700	1	
		盤					400	150	400	1	
		盤					500	100	250	1	
		盤					400	100	350	1	
		盤					400	500	100	1	
		盤					200	100	500	1	
2	事務室附室	照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				3	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
2	男子更衣室	照明	トラフ	天井直付	1	40W				1	
2	女子更衣室	照明	トラフ	天井直付	1	40W				1	
2	倉庫	照明	トラフ	天井直付	2	20W				1	
2	湯沸室	照明	トラフ	天井直付	1	40W				1	
2	男子便所	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
		照明	トラフ	天井直付	2	40W				1	
		照明	シーリングライト	壁付	1	20W				1	
2	女子便所	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
		照明	トラフ	天井直付	2	40W				1	
		照明	シーリングライト	壁付	1	20W				1	
3	議場	照明	埋込アクリルカバー付	天井埋込	2	40W				30	
		照明	誘導灯	壁付	1	20W				2	
3	倉庫	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
3	階段室	照明	富士	天井直付	2	20W				1	
		照明	シーリングライト	壁付	2	40W				1	
		盤					600	150	900	1	
3	議員控室	照明	埋込アクリルカバー付	天井埋込	2	40W				9	
3	居室1	照明	富士	天井直付	2	40W				6	
		照明	富士	天井直付	3	40W				3	
3	湯沸室	照明	流し元灯	壁付	1	20W				1	
		照明	富士	天井直付	2	40W				2	
3	議長室	照明	埋込アクリルカバー付	天井埋込	2	40W				6	
		照明	非常照明	壁付	1	20W				1	
3	男子便所	照明	トラフ	天井直付	2	40W				2	
3	女子便所	照明	トラフ	天井直付	2	40W				1	
3	廊下	照明	富士	天井直付	2	20W				5	
		照明	誘導灯	壁付	1	20W				1	
	外構	照明	シーリングライトカバー付	天井直付	2	FCL15W				3	
		照明	シーリングライトカバー付	壁付	2	40W				1	
		盤					500	200	600	1	

西庁舎

[電 気]旧庁 舎撤去リスト②

階	室名	設備仕様 種類	照明形状	設置方式	灯数	サイズ(型)	サイズ(W,D,H)			台数	備考
1	倉庫2	照明	トラフ	天井直付	2	40W				2	
1	男子・女子便所	照明	富士	天井直付	2	40W				2	
		照明	富士	天井直付	1	40W				5	
1	会議室(A)	照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				6	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
1	会議室(B)	照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				6	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
2	執務室1	照明	富士	天井直付	2	40W				16	
		盤					500	100	700	1	
		盤					500	100	800	1	
		盤					650	250	700	1	
		盤					500	250	650	1	
		盤					400	100	500	1	
		盤					400	150	400	1	
2	執務室2	照明	富士	天井直付	3	40W				5	
		照明	富士	天井直付	2	40W				14	
		照明	富士	天井直付	2	110W				6	
		照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				9	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
2	湯沸室	照明	富士	天井直付	2	20W				1	
	外構	照明	トラフ	天井直付	1	40W				1	
		照明	シーリングライト	壁付	2	40W				2	
		盤					400	300	800	1	

北庁舎

[電 気]旧庁 舎撤去リスト③

階	室名	設備仕様 種類	照明形状	設置方式	灯数	サイズ(型)	サイズ(W,D,H)			台数	備考
1	玄関	照明	トラフ	壁付	5	40W				1	
		照明	反射笠	天井直付	2	40W				1	
		照明	反射笠	天井直付	3	40W				1	
1	執務室3	照明	トラフ	天井直付	2	40W				3	
		照明	反射笠	パイフ吊	3	40W				8	
		盤					300	200	450	1	
1	書庫	照明	反射笠	パイフ吊	2	40W				1	
1	男子便所	照明	トラフ	天井直付	2	40W				2	
1	女子便所	照明	トラフ	天井直付	2	40W				3	
1	多目的便所	照明	トラフ	天井直付	2	40W				1	
1	執務室1	照明	富士	天井直付	2	40W				19	
		照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				4	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
		盤					500	150	700	1	
1	執務室2	照明	下面開放	配線ダクト取付	2	40W				76	
		照明	下面開放	天井直付	3	40W				1	
		盤					400	120	1000	1	
1	休憩室	照明	シーリングペンダントライト	天井引掛	2	FCL32W,24W				1	
		盤					500	150	600	1	
		盤					400	200	400	1	
1	相談室	照明	富士	天井直付	2	40W				2	
1	居室1	照明	反射笠	配線ダクト取付	2	40W				6	
		盤					600	800	800	1	鉛含有(FH-LWD1)を含有の調査を行った上、分別廃棄するものとする)
1	事務室1	照明	トラフ	ハイフ吊	2	40W				4	
1	事務室2	照明	トラフ	天井直付	2	40W				3	
1	更衣室	照明	反射笠	天井直付	2	40W				4	
		照明	シーリングライト	壁付	1	40W				1	
1	階段(東)	照明	反射笠	壁付	2	40W				1	
		盤					300	200	500	1	
		盤					600	150	900	1	
1	階段(西)	照明	反射笠	壁付	2	40W				1	
2	市長室	照明	下面開放ガラスカバー付	天井直付	3	40W				3	
		盤					300	200	500	1	
2	応接室1	照明	トラフ	パイフ吊	2	40W				1	
		盤					300	200	450	1	
		盤					300	150	500	1	
		盤					700	250	1300	1	
2	応接室2	照明	トラフ	パイフ吊	2	40W				1	
2	会議室(A)	照明	富士	天井直付	3	40W				2	
2	会議室(B)	照明	トラフ	パイフ吊	2	40W				2	
		盤					300	200	500	1	
2	便所・洗面室	照明	富士	天井直付	2	40W				3	
2	湯沸室1	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
2	湯沸室2	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
		照明	トラフ	天井直付	1	40W				1	
		盤					250	250	1400	1	直流電源(松下 FT10-80HSE)蓄電池(鉛含有)
		盤					700	800	1400	1	
2	執務室1・事務室	照明	反射笠	配線ダクト取付	2	40W				88	
		照明	反射笠	配線ダクト取付	3	40W				13	
		盤					450	200	800	1	
		盤					550	150	650	1	
2	執務室2	照明	富士	天井直付	2	40W				4	
2	執務室3	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
		照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				8	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
		盤					300	200	450	1	
2	放送室	照明	富士	天井直付	2	40W				4	
		盤					400	100	500	1	
		盤					500	250	650	1	
2	男子更衣室・洗面室	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
		照明	富士	天井直付	2	20W				1	
2	女子更衣室・洗面室	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
		照明	富士	天井直付	2	20W				1	
2	階段(東)	照明	シーリングライト	壁付	1	20W				1	
		盤					500	100	300	1	
		盤					450	150	300	1	
	外構	照明	反射笠	天井直付	2	40W				1	
		盤					600	300	1100	1	
		盤					900	300	750	1	
		盤					650	200	550	1	
		盤					400	150	450	1	
		盤					700	300	500	1	
		盤	キュービクル				3800	2300	2250	1	基礎共撤去(解体図○○参照)

北庁舎別館

[電 気]旧庁 舎撤去リスト④

階	室名	設備仕様 種類	照明形状	設置方式	灯数	サイズ(型)	サイズ(W,D,H)			台数	備考
1	自転車置場	照明	反射笠	天井直付	1	40W				8	
1	男子更衣室	照明	富士	天井直付	2	40W				6	
		盤					350	150	400	1	
1	脱衣室・シャワー室	照明	電球カバー付	天井直付	1	不明				3	
1	用務員室	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
1	湯沸室	照明	富士	天井直付	2	40W				1	
1	和室	照明	シーリングライトカバー付	天井直付	5	40W				1	
1	教養室	照明	富士	天井直付	2	40W				3	
		盤					600	200	1200	1	
1	電算室	照明	富士	天井直付	2	40W				10	
		盤					550	600	600	1	
		盤					350	200	650	1	
		盤					600	200	750	1	
		盤					300	150	500	1	
		盤					700	200	850	1	
1	サーバー室	照明	富士	天井直付	2	40W				8	
		盤					1100	700	2000	6	サーバーラック
		盤					500	100	700	1	
1	印刷室	照明	富士	天井直付	2	40W				8	
1	通路	照明	富士	天井直付	2	20W				2	
2	執務室1	照明	LED富士	天井直付	2	40型(NNF42001LS9)				20	取り外し後清掃し発注者に引き渡す
		盤					400	150	300	1	
2	執務室2	照明	富士	天井直付	2	40W				8	
		照明	富士	天井直付	3	40W				2	
2	書庫	照明	トラフ	天井直付	2	40W				15	
	外構	照明	シーリングライトカバー付	壁付	1	20W				3	
		照明	シーリングライト	壁付	1	20W				1	
		照明	シーリングライト	壁付	1	40W				2	

上記照明のうち、2006年7月月以前に生産されたRoHS指示に準拠する鉛の含有率を超える可能性のある613台については、鉛含有の調査を行った上、分別廃棄するものとする

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計	/00.00.00	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正 .	特記	統括 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 撤去設備機器リスト1	撤去設備機器リスト1・2.DWG	
	検図 /00.00.00	確認 / . .	.		建築 1級建築士登録第286712号 薄崎康志 印		縮尺 -	枚ノ内 / 図面番号 6042	
	製図 /00.00.00	作成(国為者) / . .	.					区分 建築(総合)	

南庁舎

[機械]旧庁舎撤去リスト①

階	室名	設備仕様							備考
		種類	仕様		寸法			台数	
					W	D	H		
1	会議室	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	2	
1	会議室A	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
1	会議室B	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
1	駐車場	ポンプコントローラー			400	200	600	1	
2	事務室	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	4	
2	湯沸室	ガス瞬間湯沸器	壁掛	16号	400	200	700	1	
3	議場	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	1400	400	4	
3	議員控室	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	2	
3	居室1	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
3	議長室	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
3	湯沸室	ガス瞬間湯沸器	壁掛	号数不明	400	200	700	1	16号程度と思われる
RF	屋上	高置水槽			1500	1500	2000	1	容量不明、寸法根拠は写真のみ
	外構	パッケージ室外機	GHP	冷房35.5kW	1400	1000	2200	2	ヤマハ製
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	1100	450	1400	3	冷房10.0～20.0kW程度

西庁舎

階	室名	設備仕様							備考
		種類	仕様		寸法			台数	
					W	D	H		
1	会議室(A)	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
1	会議室(B)	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
2	執務室1	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	2	
2	執務室2	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	4	
2	湯沸室	ガス瞬間湯沸器	壁掛	8号	400	200	600	1	
	外構	パッケージ室外機	GHP	冷房14.0kW	1200	750	1400	1	ヤマハ製
	外構	パッケージ室外機	EHP	冷房12.5kW	1100	450	1400	1	
	外構	パッケージ室外機	EHP	冷房11,200kcal	1100	450	1400	1	
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	1100	450	1400	3	冷房10.0～20.0kW程度
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	3200	800	1700	1	冷房20.0～35.5kW程度×4連結

北庁舎

[機械]旧庁舎撤去リスト②

階	室名	設備仕様							備考
		種類	仕様		寸法			台数	
					W	D	H		
1	玄関	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	950	350	1	
1	玄関	エアーカーテン			1200	200	300	1	
1	執務室3	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
1	執務室1	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	2	
1	執務室2	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	2	AXHP112M:2台 取り外し後、清掃し発注者に引き渡す(リモコン共)
1	居室1	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	2	
1	相談室	パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
1	休憩室	パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
2	執務室1	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	5	AXHP112M:4台、AXHP140M:1台 取り外し後、清掃し発注者に引き渡す(リモコン共)
2	執務室2	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
2	執務室3	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	2	
2	会議室(A)	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
2	会議室(B)	パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
2	応接室1	パッケージ室内機	床置		800	200	700	1	
2	市長室	パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
2	市長室	空気清浄機	壁掛		900	200	400	1	
2	湯沸室1	ガス瞬間湯沸器	壁掛	16号	400	200	700	1	
RF	屋上	パッケージ室外機	GHP	冷房35.5kW	1400	900	2100	1	アイシン製、別建物で再利用
RF	屋上	パッケージ室外機	GHP	冷房28.0kW	1400	900	2100	2	アイシン製、別建物で再利用
RF	屋上	パッケージ室外機	GHP	冷房28.0kW	1400	1000	2200	1	ヤマハ製
RF	屋上	パッケージ室外機	EHP	能力不明	900	400	800	1	冷房2.8～7.1kW程度
RF	屋上	高置水槽			2000	2000	2000	1	2mx2mx2m程度
	外構	パッケージ室外機	EHP	冷房2.5kW	900	400	800	2	
	外構	パッケージ室外機	EHP	冷房2.8kW	900	400	800	1	
	外構	パッケージ室外機	EHP	冷房5.6kW	900	400	800	1	
	外構	パッケージ室外機	EHP	冷房7.1kW	1000	400	1000	1	
	外構	パッケージ室外機	EHP	冷房12.5kW	1000	400	1000	1	
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	900	400	800	1	冷房2.8～7.1kW程度
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	1100	450	1400	2	冷房10.0～20.0kW程度
	外構	ガスメーター	都市ガス13A	40? /h	500	400	600	1	新日本ガス

北庁舎別館

階	室名	設備仕様							備考
		種類	仕様		寸法			台数	
					W	D	H		
1	印刷室	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	950	350	1	
		パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
1	電算室	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	1400	400	1	
		パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
1	サーバー室	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	950	350	1	
		パッケージ室内機	天吊		1300	700	300	1	
1	和室	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	950	350	1	
		パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
1	用務員室	パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
1	男子更衣室	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	950	350	1	
		パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
1	湯沸室	電気貯湯式温水器	壁掛	18L	400	300	700	1	
		ガス瞬間湯沸器	壁掛	5号	300	200	500	1	
2	執務室1	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	950	350	3	
		パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	3	
2	執務室2	パッケージ室内機	天カセ	4方向	950	950	350	1	
		パッケージ室内機	壁掛		1100	250	300	1	
RF	屋上	パッケージ室外機	EHP	能力不明	900	400	800	1	冷房2.8～7.1kW程度
RF	屋上	パッケージ室外機	EHP	能力不明	1000	700	1700	5	冷房25.0～35.5kW程度
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	900	400	800	5	冷房2.8～7.1kW程度
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	1000	400	1000	1	冷房10.0～20.0kW程度
	外構	パッケージ室外機	EHP	能力不明	900	800	1700	1	冷房25.0～35.5kW程度
	外構	ガス瞬間湯沸器	壁掛	16号	400	200	700	1	

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計

/00.00.00 検図 /00.00.00 製図 /00.00.00

竣工図 保管 / . . 承認 / . . 確認 / . . 作成(設計者) / . .

訂正 . . . . . .

特記

統括 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印
建築 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称 撤去設備機器リスト2

縮尺 -

撤去設備機器リスト1・2.DWG

枚ノ内 / 図面番号 6043

区分 建築(総合)